

幼の兒の教育

號八第號月九卷七十二第



東京女子高等師範學校內
日本幼稚園協會

帝國美術院會員
東京美術學校教授

岡田三郎助先生・丹羽禮介先生共著

六學校 版家庭

クレヨン畫集と其の描き方

菊石作定價
判版畫三金料
全五冊
一冊度千八百
冊刷餘錢十八

素描の彩色の過程を明かにした模範クレヨン畫集の殿堂

自由畫とクレヨン畫とを混同するに圖書教育法は、既に時代遅れです。……兒童に到底大人の及ばない純真な物の觀察力を生得して居るさしこも、指導者に依つてその正しい視方と會得の仕方と表現法を學ばなければ、劃一的の圖書教育の効果は絶無であると言ふ趣旨に基き、先づ指導者に對する希望と、クレヨン畫の眞髓を敍へ、岡田・丹羽兩畫伯の過程を懇切丁寧に實例に於て説明してあります。故に本書は指導者に取つては又なき好資料で、兒童に取つては飽くなきクレヨン畫の寶庫です。學校教育家並に家庭の必備を乞ふ。

東京美術學校教授
岡田三郎助共著
丹羽禮介著

學校
家庭
應用圖案畫集
と其の描き方

菊判一冊洋綴
定價金參圓八拾錢
送料拾八錢

本書は其應用の範圍頗る廣凡にて圖書教育は勿論ホスター表紙、裝釘、染物編物等行く所として可ならざるなし。本書一本に據りて克く圖案の作意を會得し、且つ製作家たり得、教育家並に一般興味家に絶好の參考書と信す。

帝國美術院會員
東京美術學校教授
岡田三郎助共著
丹羽禮介著

三學校 版家庭 教育略畫集と其の描き方

菊判全一冊
石版色刷八集
作畫千有餘
價參圓八拾錢
送料拾八錢

寫眞のスケッチを應用した略畫の描き方

兒童の繪畫教育は略畫が簡明で、最も價値に富む蓋し本書公刊の所以である。其作畫一々に就て曲線、直線の使用法、原色、補色、間色の鑲嵌、並描法を説明し、獨寫眞スケッチを挿入して、其事實をも明示す、全科に互り具體直觀好く兒童圖書教育の効果を擧げ得。

兒童の繪畫教育は略畫が簡明で、最も價値に富む蓋し本書公刊の所以である。其作畫一々に就て曲線、直線の使用法、原色、補色、間色の鑲嵌、並描法を説明し、獨寫眞スケッチを挿入して、其事實をも明示す、全科に互り具體直觀好く兒童圖書教育の効果を擧げ得。

發行所 東京市牛車水區 中興館書店 電話 三三三 牛車水 三三三 電話 三三三 五番

望月クニ、田中銀之助著 二 四六倍版総クロース金文字八
定價金貳圓五拾錢、送料拾貳錢

幼稚園、小學校
家庭に於ける

創作唱歌と遊戯

小學校の初年級、幼稚園等に課すべき、眞に兒童の實生活を、考慮して作られた唱歌遊戯の教材がなくて因るといふ事は、わが教育界至る處に於て常に耳にする聲である。
此の時に當り、かの幼兒教育の元老であり、權威である望月女史、並に初等、中等教育界に於ける作曲の權威田中先生は、其の滔々盡くることなき、日頃の蘊蓄を傾け、心血を注いで、本書を上梓し、之を世に公にし、以て現下教育界の要望、添ひ、初等教育、幼兒保育の上に一大福音を齎らせられたのである。

◀ 本書の内容及特色 ▶

- 一、 幼童の心的生活を基礎とし、情操陶冶の實を擧ぐるに最も適切なる内容を有す。
 - 二、 右の見地よりして、特に作曲に意を用ひ、兒童の音域、並に音樂的趣味の程度、歌謠能力等を考察し、しかも曲趣深遠にして永久兒童の腦裏を去らざる、最も意義あるものとして作曲せられたり。
 - 三、 曲には悉く平易にして趣味深き伴奏を附す。
 - 四、 遊戯しつゝ唱歌を歌ひ、歌ひつゝ遊戯をなすを主體とせるも、亦遊戯を離れ單に唱歌として唱ふる事を得る様にも仕組まれたり。
 - 五、 平常の教科とくは勿論學藝會、唱歌會等に演奏せしむる材料豊富。
- 尙附録として
- 1、 平常の授業並に運動會に出演すべき運動教材、遊戯教材等を掲載せり。
 - 2、 著者の創作並に創作ならざる歌曲にして家庭材料幼稚園小學校教材として最も適切なるもの二十餘種を掲載せり。

發行所

神戸市下山手通六丁目三番
振替口座大阪八〇六八五番

保 育 研 究 會



日本幼稚園協會編輯幼兒教育

會長

東京女子高等師範學校校長

吉岡

鄉甫

主幹

東京女子高等師範學校教授

堀

七

藏

贊助員

東京高師教授

巖谷秀雄

東洋大學教授

高島平三郎

東京帝大醫科講師

太田孝之

東京女子高師囑託

龍山義亮

東京高師教授

大瀬甚太郎

帝國教育會理事

野口授太郎

慶應大學教授

唐澤光德

松江高等學校長

乘杉嘉壽

東洋幼稚園長

岸邊福雄

京都帝大教授

野上俊夫

早蕨幼稚園長

久留島武彦

東京女子高師教授

倉橋惣三

帝國教育會會長

澤柳政太郎

東京女子高師教授

松村武雄

東京高師教授

佐々木秀一

東京帝大教授

松本亦太郎

東京女子高師教授

菅原教造

奈良女子高師校長

横山榮次

東京女子高師教授

下田次郎

東京帝大教授

三田谷啓

東京女子高師教授

富士川游

奈良女高師附屬幼稚園主事

川正雄

東京市教育局長

藤井利譽

東京帝大教授

湯原元一

東京女子高師講師

藤五代策

東京帝大教授

吉田熊次

文部省

福士末之助

東京女子大學長

安井哲子

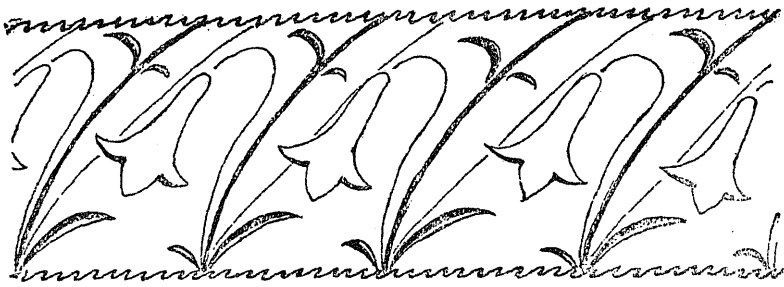
文部省

谷本富

東京女子大學長

安井哲子





號八第 育教の兒幼 卷七十二第

口繪	ネスト、みのり、子供園、七夕祭、遊戲の講習	二頁
めてたき準備帳ふ	堀	七頁
私の視察した歐米の幼稚園教育(四)	堀	七頁
この頃	千葉女師附屬幼稚園	二七頁
考へさせる話	高安光	三三頁
七夕祭	富士見幼稚園	三七頁
疫痢の話	瀬川博士	三九頁
倍達幼稚園	L、Y、S 生	四九頁
童話 太郎山の兎	水谷年惠	五四頁
赤い玉と白い玉	水谷年惠	五四頁
みのり子供園	設立者	五九頁
遊戲 影法師	土川五郎	六一頁
恐るべき皮膚病	眞家博士	六三頁
お話 赤い洋傘	阿閉生	七一頁
お粥の洪水	阿閉生	七一頁
雑録		七五頁
九月の幼児生活	ト部たみ	八〇頁

最新刊

文學士 倉橋惣三氏序
日本幼稚園協會編纂

本田庄太郎畫伯
裝幀及挿畫



子供はお話を聞きながら。親も先生もお話をしてやりたい。しかし材料がない。無選では選ばれておかない。實際選擇せられないのである。その選ばれたお話の集が此の書である。誰れが選んだか、東京女子高等師範學校の附屬幼稚園で幼児達自身が選んだのである。即ち同園で日々話される多くの話の中で幼児の最も樂しむお話を集められたのである。現に幼児の樂しんだお話をすべての家庭と幼稚園とへ一番確實に奨めることの出来るお話である。小さいお話しは此儘讀んで樂しませて貰へる、大きいお話しは自ら讀んで樂しむことが出来る。いづれにしても廣く家庭と幼稚園と小學校には是非共備へられなければならない物である。

東京市日本橋區大傳馬町二丁目

内田老鶴圃

振替東京二一四六番
電話浪花一三三五番

◆◆◆◆
四六版特製函入
紙數四〇〇餘頁
定價金二圓八十錢
送料金十八錢

倉橋惣三先生序
日本幼稚園協會編

幼兒に聽かせるお話

四六版特製本
紙數六二〇頁
定價三圓八十錢
送料十八錢

文學士 倉橋惣三氏著

幼稚園雜草

四六版上製本
紙數五二〇頁
定價二圓五十錢
送料十八錢

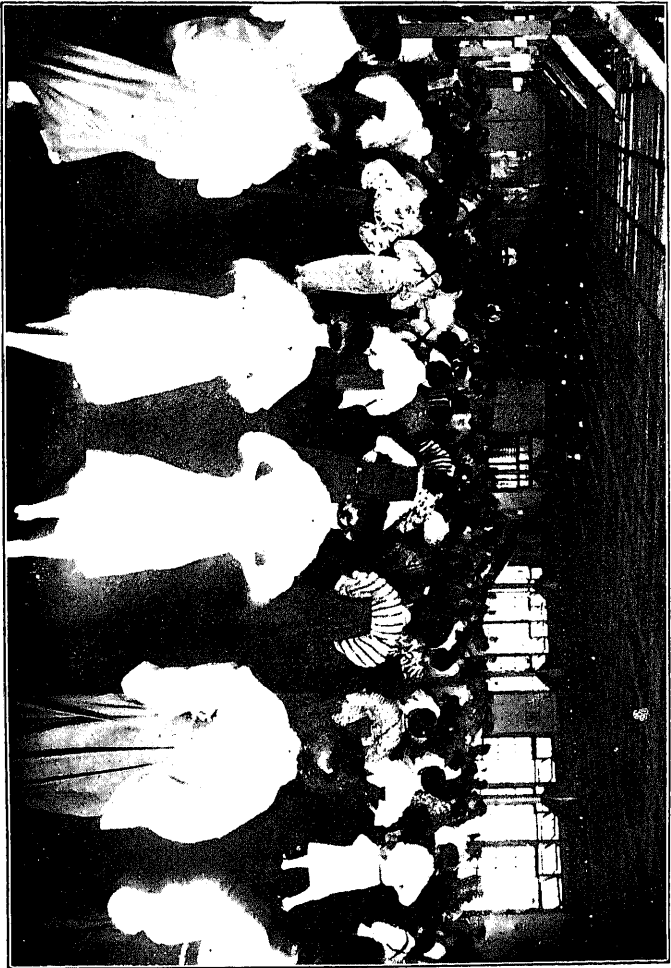
萬國幼稚園協會案
日本幼稚園協會譯
倉橋惣三先生序

幼稚園保育要目

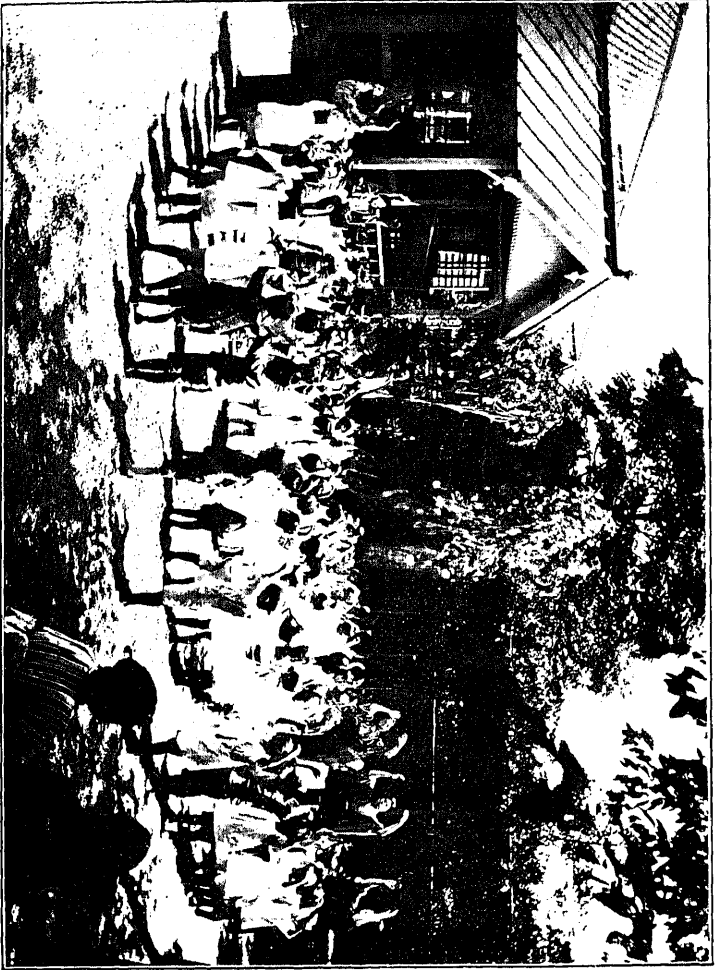
菊版上製函入
高雅なる裝幀
定價一圓五十錢
送料十八錢

救世軍のホースト



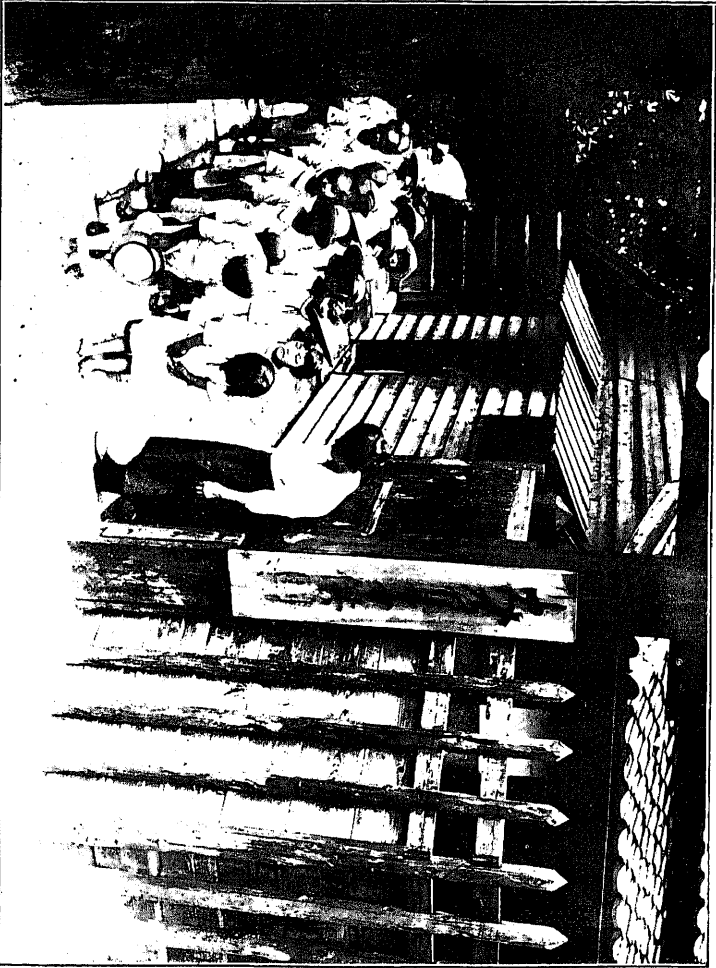


戸倉女史の遊戯練習



富士見幼稚園七夕祭(一)

川原幼稚園児の子りか

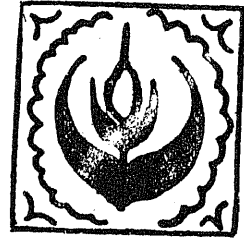




號八第 育教の兒幼 卷七十二第

月九・八年二和昭

- 一、教育で家庭教育位重要なものはありません。家庭教育の良否は實に人一生を支配し國家の發展を左右するのであります。最近の學術は益々家庭教育の重大なる使命を立證し近時の社會現象は善良なる家庭教育の必要を痛感せしめてゐます。
- 一、家庭教育の短を補ひ幼兒の心身を充分に發達せしめ將來受くべき學校教育の基礎を築くものは幼稚園教育であります。幼稚園教育の重視すべきことは天下一人も異議がないのであります。
- 一、幼兒の教育は本邦唯一の幼稚園教育に關する發表機關であります。而してまた本邦唯一の家庭教育雜誌であります。
- 一、幼兒の教育は幼兒の教育、即ち家庭に於ける教育と幼稚園に於ける教育、更に小學校初學年教育に關する事項は細大となく網羅し、以て家庭教育の向上を計り、幼稚園教育の進歩發展を期する大抱負をもつて産れたもので有ります。



めでたき準備整ふ

けふから朝夜二回に亘つて

宮内省から御模様を發表

皇后陛下の御慶事はいよ／＼と一句と押迫つた、廿日赤坂離宮では自動車のきしりが皇后感のゝ耳ざはりになつてはと早朝から離宮正門の出入は皇族方のみと制限を加へ御車寄を閉鎖し一般出入は東車寄と定めそこには御機嫌奉伺帳を備へつけた、皇宮警察部でも坂口警視を司令として正門をはじめ各門には皇宮警手を三名づゝに増員した、又側近に奉仕する人々も準備をさ／＼怠りなく何時御吉兆を拜しても差支なきやうにと晝間は磐瀬御用掛、夜間は塚原侍醫が交代で詰切り助産婦その他係員も全部當直を開始し手配は全く終つた、なほ宮内省では廿日から各新聞社に對し午前十時と午後九時半と二回に亘り御慶事前の御模様を發表することとなりその第一回として本多事務官から陛下にはいと御機嫌うるはしく極めて御順調の旨を發表した。

兩乳人

近く御誕生遊ばされる皇子さまの乳人については東京、栃木、茨城、埼玉、山梨、群馬、神奈川の一府六縣から推薦された候補者十四名に對し侍醫寮の手で細密なる體格検査に引續き身元再調査中のところ愈々榮譽ある乳人は十九日左記二名に決定した旨宮内省から發表と共にそれ／＼通牒を發せられた、兩乳人は來る廿五日赤坂離宮に出頭、簡単な健康診断を行ひ即日奉仕の豫定である。

東京府豊多摩郡中野町中野一七四七會社員 木内勝次妻 喜代子

(明治卅八年三月廿五日生)

山梨縣東八代郡石和町一四六農家 八田政恕妻 義子

(明治卅八年十一月五日生)

愈々けふから兩乳人奉仕

最後の健康診断を受けてそれ／＼官舎へ

皇子御生誕もいよ／＼近日に迫つたのでかねて光榮ある御乳人として決定してゐた木内喜代子(二三)八田義子(二三)の兩名は屬官付添ひの上廿五日午前十時半自動車で赤坂離宮に初伺候し、篋侍醫の最後の健康診断を受け直に奉仕することになり河井皇后宮大夫から乳人の辭令を受け八田乳人は離宮内の官舎

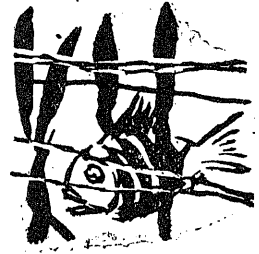
に木内乳人は麴町區紀尾井町官舎にそれ〴〵差控へることになつた、右につき本多侍従は謹んで語る『御慶事も迫つたのでけさ兩乳人は參殿いよ〴〵奉仕する事となつた次第です、また廿五日は大正天皇の御命日に當らせられ天皇陛下には午前十時宮中に出御あらせられ直に權殿に御禮拜の上皇太后陛下に御面會御物語りあつて午前十一時卅五分御退出還幸あらせられたが皇后陛下には油小路女官を、皇太后陛下には竹屋典侍を多摩陵に御代拜として遣はされました』

獻上品や賀表賀牋は

受納しな

皇子御生誕に際しての獻上品や賀表賀牋の類は諒闇中のことであるからすべて受け納れられないことになつてゐる、御生誕後御機嫌奉伺を差許されてゐる者は平常通りの有資格者即ち従六位勳六等以上のものゝみて赤坂離宮も宮城もそれ等の人々に對する別段の設備もなく平素の通り受付に記名帳を置くだけのことであると。

(八月廿五日東京日日新聞)



私の視察した歐米の幼稚園教育 (四)

堀 七 藏

一〇、ネスト(巢)

救世軍のマザーホスピタルを參觀した後、更にネストを見るため電車に乗つて出かけました。そしてアツバー、クラブトンのスプリングフィールドで下車したのであります。スプリングフィールドはチームス河の一支流に臨んだ誠に見晴のよい公園であり、池があつてボートを浮べることも出来、クリケット、テニスコートのようなものがあります。一寸ロンドン郊外とも思はない閑静なよい住宅のある所だと考へて歩いてゐますとスプリング公園から保母に連れられて幼児が出て來たので始めてネストの意味が分りました。引取る人のない幼児を收容して保育する場所がこのネストで、實に雛が育つ巢であります。いはゞ孤兒園であります。こゝの舎長とも稱すべき温厚な婦人に案内せられたが、この婦人はオールドミスでありませうが私には微塵もそんな氣分を起させない實に純良で温味のある人と感じたのであります。

す。

先づ日光浴をする室を見ました。こゝは軒下といへば語弊があるが、煉瓦の家屋の南側に硝子屋根をして日光を十分受けるやうにした室で日本では大きな温室といった形のものであります。一体英國では硝子屋根の建築物が多いやうに思ひます。水晶宮と稱するロンドン郊外の大建築物は悉く硝子張、只鐵骨と硝子だけで出来上つてゐる大きな建物ですが、大抵の停車場はプラットホームが總硝子天井であります。冬日晝が短く、暗いからであります。兎に角硝子天井の物が多いのは英國で一特色とするものと私は考へました。話は横に入りましたが、このネストにある日光浴をする室は硝子張りであります。疾病の多い孤兒であるからこゝで日光浴をなさしめるので寢臺があり、冬はストープを入れるやうになつて居ります。それから二階の寢室を見ると一方に室長となるナースの寢臺を幕で區切し、幼兒の寢臺がきちんと並んでゐます。親と離れた幼兒がこゝで保育せられるのであるが一寸見ると幸福な生活であります。バスも奇麗であり遊ぶ室もあります。また大きくなつた子供は他の學校へ通ふのであります。十四五歳の女兒を頭にして五六人のが樹間で編物などして遊んでゐます。横にはブラックの體操場があつてピアノが一臺あります。樹間の芝生は子供達が遊戲をするに十分であります。口繪に示す寫眞は今ネストにはぐまれてゐる雛が樹間でお茶の御馳走になるところであります。樹の下から二人目の婦人がこのネストの舎長ともいふべき人て他の五人がナースで各室を受持つてゐるのでそれらのテール

ルはその雛の一團であります。煉瓦の建物がネストの本部、その硝子窓の多いのが日光浴の室であります。

一、マザークラフトトリーニングカレッジ

ロンドン大學のキングスカレッジを參觀するとナースを養成するコースがあります。そのコースではマザークラフトトリーニングカレッジと関係があるから紹介してやるといふことで、その厚意を受けて急にハイゲートに行く決心をいたしました。ハイゲートはロンドン北郊ハムステットであるが、またロンドンに慣れない私にはハイゲートに行くだけでも容易なことではありません。漸くバスで終點まで行き、いろ／＼と尋ねてクロンウエルハウスに着いた。こゝにマザークラフトトリーニングカレッジがありますので、參觀を乞ふと參觀日ではないが特に案内して呉れました。私立のもので一種の病院であります。外來患者は火、水、金の午前十時より十二時まで診察を受け、乳兒哺育に關する故障や疾病につき相談することが出来るのであります。報告によると外來者は四六六一人、入院者、母親が五十四人、嬰兒が百十七人、死亡者が十一人、病院に滞在平均日數嬰兒を伴つた母親は二十九日、嬰兒が六十九日といふことであります。こゝに來てゐる嬰兒は母乳哺育がよく行はれないために疾病を起したものが多く、母乳哺育を獎勵普及させることを目的にしたものであります。人工的に牛乳や山羊の乳で哺育するよりも母乳を與へると自然に適した最良の哺育が出來、母子の愛情も眞に養はれることからこの方面の

宣傳をなすのが、この團體の重要な目的であります。近時益々蔓延せんとする人工哺育の缺點を指示して母親並に母親となる若き婦人に對し母乳哺育の最良なることを理解させ之を實施するやうに宣傳するのであります。また全く經驗のない婦人や娘達に一ケ年のコースで母親として乳兒を育てる方法を練習させるのが一仕事であり三ヶ月のコースでナースを養成するのがあります。キングスガレッジ等で保育の理論を學び三月にして實地練習をするのが所謂ナースで、ロンドン市の資格試験をとれば立派なナースとして家庭に雇はれることが出来ます。それでこゝでは乳兒保育のいろ／＼の完全な設備をなし、科學的に乳兒を發育させる方法を研究してゐます。人工哺育と母乳哺育とを比較して後者が如何に優良であるかを實際の數について示して居ります。また一日幾時間位日光浴をさせたならばよいか、新鮮な空氣を吸入させる工夫をなすべきか、乳兒に入浴させる方法から便通の仕末方等をいろ／＼と研究して居ります。どうしても乳兒死亡は人道上からも國家社會の發展からいつても成るべく減少させる必要がありますませう。多産で多死といふ我が國の如きは大にこの方面を學ぶ必要があります。我が國で乳兒死亡の多いのは確かに母親が無智なるが爲め、哺育の方法をよく理解せず嬰兒の取扱について重要な知識を缺くために子寶を失ふ場合が甚だ多いと思はれます。今日女學校では育児に關する一通の知識を授けるには授けてゐるがこれが、多く机上の無論といへば語弊があるかも知れないが眞の技能とはなつて居りません。それでさて母親となつても所謂五里霧中であらうと失敗をなし長男長女を犠牲に供すること

が少くありません。長男の甚六などといふことが若し多少とも眞をうがつ言葉だとせばこれは母親の初經驗の犠牲を物語るものと考へられませう。割烹の實習や洗濯掃除と八ヶましい練習をやらせる女學校の家事でも高等小學校の家事でも育兒の方法について實地の練習をさせることが肝要であります。子供を愛する態度を養成するだけでも目下の急務と思はれます。新しい教育高い教育を受けると兎角母親となることを厭ひ乳兒を哺育することをさけるが如き傾向を生ずるやうになつてゐることは我が國に於ける女子教育の一大缺陷といはねばなりません。

一二、ナーセリー、トリートニングスクール。

七月八日突然ホルランドヴィラスロッドにあるナーセリーカレッジを見る積り。紹介なして斷られるならばそれまでと臍をきめ、宿からホルランドパークの方へだら／＼坂を下りました。そしてホルランドヴィラスロッドを一端から他端まで入念に探したがどうしても分りません。丁度子供を連れられた母親らしい婦人に尋ねると直ぐそこだと親切に教へて呉れました。表札を見るとアヂソンハウスとあります。これがナーセリーカレッジかなと怪しみながらベルを鳴すと取次の女が出て來ました。それで日本大使館よりの紹介状を示すと誰に用事があるかといふ御尋ね。「校長に」といふと笑ひながら入つて行く、そして再び出て來て「どうぞこゝへ」と應接室、まことに奇麗な室に案内せられたので、今まで「何だこれが學校かな」といふ輕視の念も多少起つてゐたのが、すっかり消失しました。成程ナースを養成するら

しい格恰の室であると感心してゐると、ニコ／＼笑ひながら一婦人が出て來られた。男がナース養成のカレッヂを參觀するのが變だと考へられる心配があるので、私はロンドン在住の日本婦人、その家庭のナースからその人がこの學校の卒業者だときいたから特に參觀したい。そして紹介も參觀の時間も尋ねず突然來たことを辯明したのであります。元來英國は中々儀禮のやかましい所であり、ますから學校を參觀するにはロンドンにある日本大使館の紹介状を持つてロンドン市の教育局に行き、更にその許可を貰つて紹介せられた學校長に何時參觀に行つたならばよいかをきゝ合せた後に出かけるべきであります。こゝは私立のカレッヂでありますから大使館の紹介状（實は宛名なしの共通なものです）を出して見せて急に參觀を申込んだのであります。至極心地よく案内して貰ふことが出來たのは何よりであります。この婦人はこゝの校長であります。「この學校は甚だ小さい」と案内にだけた態度、この室はダイニングルームですから他へ案内いたしませう」と氣輕に立つて階段を昇る。右側にある室に入ると驚きました。幼稚園の一室位の廣さであるが、床が奇麗に光つてゐます。真中には八人分の幼兒の机腰掛があります。入口の壁によつた所には小さなベットが八個並んでゐます。このベットをのぞいて見る満二歳位の子供が眠つてゐます。話し聲で眼を開き笑つてゐるものもあります。壁には幼兒の好むやうな繪が切りぬいて貼つてあります。また幼兒の遊び道具もありますし、二段造りの腰掛もあります。室の南側が窓でドアがあります。こゝを見るとヴェランダから階下に下ることが出來ます。この下に一室

あつて小さな寢臺がテント張の下にあります。中には満一歳位の子供がねてゐます。そして一人のナーヌが番をしてゐますが、この室は日光浴をさせ新鮮な外氣に觸れさせるための室であります。尤も雨が降るときにはテント張のところに入れ、お天氣ならば樹間に連れ出すことが出来るやうに乳母車式になつた寢臺が使つてあります。庭は廣くないが古い大樹が向側にあり、芝生があり、煉瓦塀に沿ふて僅てはあるが草花もつくつてあります。大體このナーサリーカレッジは普通の住宅を利用したものであり後庭がある譯であります。芝生は誠によく手入れをなし、幼児が遊ぶに至極よくなつてゐて、この上で幼児が匍つたりよち／＼歩んでもころんでも差支ない位になつてゐます。老樹の下には乳母車に載せた幼児が眠つてゐます。また巻き込自在の籠があつてその下にも生後二ヶ月位の嬰兒が眠つてゐます。そして成るべく日光に浴せしめ新鮮な空氣に觸れさせて養育するのが一般の主義になつてゐます。その筈で英國の如く北緯五十度以北にあつて日光直射量の少い所では成るべく日光浴をさせる必要がある譯でせう。

更に室内にもどつて二階の北側にバスルームがあります。幼児の入浴に適する大小の硬質陶器製の浴槽が四五個ありますし、更にゴム製で疊んで運ぶことの出来る浴槽もあります。凡てこの室で幼児が入浴させられ、身體の清潔を常に保つやうに注意せられる譯であります。この隣室が幼児の食物をつくる所であります。ミルクを冷して置く棚があり、ミルクの薄め方、分量を表にして掲げ哺乳器が洗滌して

冷してある。それでこゝに收容してある幼児は小さいから主として牛乳で哺育し他に簡単な食物が調理出来るにすぎないやうに見えます。

三階に昇ると矢張り南側の室が保育室となつてゐて、これも實にサツバリとしてゐます。壁には草花にアツサリした色彩の繪が張つてあります。疊むことの出来る寢臺に幼児が眠つてゐます。枕元にかごがあるから注意して内を見ると目の荒い網があります。何にするのかと尋ねると幼児のとび出すのを防ぐので寢臺にかけるものだといふ説明であります。丁度、この室の中央で四十すぎた婦人がやせた幼児の腹をマツサーヂしてゐます。幼児はニコ／＼笑つてゐます。くすぐりたいのかとも思はれたが、著しく瘠せてゐます。この婦人の話ではフランスはナースの方面がよく進歩してゐるといつてマツサーヂをしてゐましたから、多分フランスで研究しフランスのナーセリースクールなどを見學したものでせう。この室にも實習生らしい若い女が二三人ゐます。この實習生は合計八人位であります。

さてこのナーセリーカレッジは一九二一年ミセス、グレー氏がその夫の記念に建てたもので、一方で幼児を保育し他方ではこの幼児を保育するナースの養成をなす二重の任務をもつてゐる學校であります。ロンドンにはケンジントンの健康地にあり、バスから便利な場所にあります。家庭生活をなし得るカレッジ式で生徒の幸福と健康とに特別な注意を拂ふやうになつてゐます。しかし十八歳以下の少女は入學出來ません。この學校で練習する事項は

保姆衛生、嬰兒幼兒の保護に關する講義

ナーセラー管理

母乳哺育、人工榮養補育の最新法

幼兒の研究と練習

普通な小兒病、幼兒の被服洗濯、幼兒の食物の調理、裁縫

九ヶ月こゝして練習して更に三ヶ月病兒の取扱を練習し、合計一ケ年の後、試験の上にクレナーナースと稱することが出来る免許狀を與へます。そして家庭のナーナースとして勤むるに適切なる週旋をなすので卒業のときも卒業後も相當の収入が得られるといふことであります。而して一ケ年、即ち十二ヶ月（二週間の休業日を含む）のコースでは一ケ年六十ポンドの學資を支拂はねばなりません。六十ポンドといへば日本金の六百圓以上で一ヶ月にすると五十圓を要する譯であります。これは住宅賄料、授業料を含むものであるから決して高價ではありません。また免許狀を得られないが、三ヶ月又は六ヶ月のコースを望むものは毎月八ポンド支拂へば入學出來ます。必要に應じ更に長期のコースをとることが出來、病氣のため練習を缺いたものはそのコースの終りに補充せねばなりません。

一三、キングスカレッヂ

ロンドン大學の一部キングスカレッヂは女子の入學する家政學及社會學の大學であります。この女子

大學には種々のコースがあります。三年のコースは B.Cc の學位を得るものとカレッジデプロマーを得るコースとありますがこの外に應用化學のコースがありいろいろある。茲に説明せんとするのはシスター（婦人團體などの看護婦長といふ資格の職）又はテューター（家庭教師）を志願するものがナースの練習をなす一年のコースがあります。このコースの學科には生物學があつて生物に關する一般の知識を得るのであります。また職業事務として經濟學簿記等が授けられるし、衛生竝に幼兒保護として一般公衆衛生、傳染病、育兒と幼兒の保護等の講義竝に實際があり、別に生理學も加へられてゐるといふ譯であります。實はこのコースは短日月のコースであるが、英國では兎に角大學の一コースとして存することに注意せねばならぬ。我が國の如く大切な乳兒を全く無教育な乳母に托して頓着しないのは單に牛乳の代りに人乳を以てすると大差がないことになり、乳母から却つて惡習慣を養成せられる心配がある位である。また幼兒を高等小學校さへも卒業せぬ子守に終日托して放任する我が國では小學校入學前に一通り不良の習慣を得てゐるから小學校教育を受くるに至つて多少注意するとも中々良結果を得ることが困難なことは當然でありませう。

一四、英國の家庭に於ける幼兒

英國の家庭に於て幼兒は如何に保育せられるかを一應考へて見ませう。私の見聞したところは英國では殆ど病院に於て出産せられるのが普通で、三四週間もすれば母親が退院し嬰兒を伴つて家庭に歸るも

のと、その儘嬰兒を小兒の病院にて哺育するものと二大別出来るやうであります。それでロンドンは勿論他の大都市には嬰兒を哺育する病院が少くないのであります。必ずしも病兒でなくとも病院に於て人工哺育を盛にやつてゐます。我が國で里子にやるといつた所を病院で育てるもので、人工哺乳を盛に行ふ程嬰兒が病院生活をさせられる位で、母親は月幾回といふ形で病院を訪問し嬰兒に面會するのであります。自然母子の愛情が甚だ微弱なことを肯定せねばなりません。これにはいろ／＼長短がありませう。嬰兒を育てることが出来ない場合に科學的な養育を受けることはその嬰兒にとつていくら幸福であるか知れないのでありますが、この際には母子の愛情は全くないと考へねばなりません。尤も毎日世話してゐるナースであるから愛情が全然ないとは申されませんが、何としても所謂なさぬ中、他人の子供を九人十人と一室にして哺育するナースと嬰兒との間には里子と養ひの親との間よりもつと愛情がないのは當然でありませう。それで嬰兒は殆ど親の愛を受けずして育つといつてもよい。これが甚だ不自然であり面白くないといふことは多少心あるものは皆承知てあります。親は生活のため止むを得ないのでありませう。赤貧なるが故にわが子を慈善病院なり市立國立なり的小兒病院に入れるか、また自己の安逸を欲するが爲めにかゝることを敢へてする母親も現今少くないことでありませう。

しかし人情すて難く、うみの兒を家庭に引取つて保育するものは何といつても多いのは幸であります。これにもまた二種ありませう。富むものは立派な教育のあるナースを雇つてその兒の教育をこのナ

ースに托するが、然らざるものはナースを雇ふことが出来ず母親自ら嬰兒の保育をする譯であります。生憎と貧乏人の子澤山は世界を通じた現象であるらしいのであります。従つて満二歳頃までは家庭内に於て母親の養育を受ける幼児が最も多いのであります。かゝる家庭に於ける幼児は如何に取扱はれるか。これは大きな問題でありますから特に注意したのであります。中々家庭の實際を観察することが出来ません。私の見聞したところから推定すると子供は子供の生活をする。子供の生活によつて大人の生活大人の享樂を成るべく犠牲とせぬやうになつてゐるのではないか。親が夫婦で外出するときには子供は家庭内に取殘される。日本の如く電車や自動車で子供を連れた婦人の甚だ少いのを見て分りませう。また活動などに子供が連れ行かれないことも著しい例であります。我が國では夜でも芝居や活動へ子供を連出し電車などに乗せたり黄塵萬丈の巷を手を引く母親が多いのは決して子供の身體精神によい結果を來す筈がありません。子供をだしに使つて親が外出するが如きことは英國の家庭に於て決してない。子供は部屋に入れそれにかぎかけて親が外出し活動などを見物に行くのが英國などでは普通であります。ときどき夜九時十時頃子供の手を引つてバーに入りウイスキーなどを呑んでゐる婦人を見かけたがこれは大體例外ともいふべきことであります。子供を強ひて連出して大人の生活の犠牲となすよりも子供を子供部屋に閉込めて位寝入させる母親の處置は夫婦の享樂本位で子供に對する愛を疑ふのであります。その結果子供の生活に無理や不衛生がなく、子供の身心を害することの少い。それで英

國の家庭に於ける幼児はまた幸なりといはねばなりません。

一五、カロデン街の公立幼稚學校

七月五日カロデン街にある公立小學校を參觀いたしました。この學校はロンドン市の東貧民區に近い所にあります。附近にテームス河畔のドックがあります。ブラックヴォルトンネルと稱しテームス河の河底をトンネルでグリーンニッチ天文臺のあるグリーンニッチに行くことが出来るるところであります。多くのロンドン市の小學校のやうに三部一校舎にあります。一階が幼稚學校(インフアントスクール)で、二階が女子小學校で三階が男子小學校になつてゐます。三部とも校長がありますが男子部の校長は男教師で他の女子小學校と幼稚學校とは女子の校長であります。三人の校長共に親切に參觀をさせて呉れましたが茲では小學校の方がありませんから略して主として幼稚學校の參觀について所感を述べませう。元來英國のインフアントスクールは義務教育の一であります。満五歳以上の幼児はこのインフアントスクールに入學するか之に相當する幼稚園又は私立學校に入學する筈であります。このインフアントスクールでは五歳一月、六歳六ヶ月、五歳十ヶ月、六歳一月といふやうに年齢で組が出来てゐます。満五歳の組は特にベビークラスと名づけられてゐる位で全く幼稚園であります。よく幼稚小學と稱せられることがあるのはこのインフアントスクールであります。一組の幼児數は可也に多く四十人以上であります。最年少組即ちベビークラスを見ると幼稚園の年長級に相當し遊びの間にアルファベット、

單語を教へ數の觀念を養成することに努めてゐます。タマツナギ、切符（これは市内のモーターパスの切符で表面に1 2 3 4 5 6 7等の數字が大きく書いてあります）の置換、果物の置換、積木、粘土といふやうな形體と數とを主とした材料で器械的といつては語弊があるかも知れないが教師の指示によつて比較的學級的な取扱をなしてゐます。動物の玩具があつてそれにアルファベットが札で下げてあり植木鉢があり蓄音器があり、蜜蜂等の掛圖がありいろ／＼の人形や人形の家が教室の周圍にあります。是等の教具は教師の工夫製作したものが多し。勿論チャイルドエデュケーション等を参考したものも多いが教師が骨身を惜まず兒童用のものを多く製作し使用してゐるには感心いたしました。我國の小學校教師のみが恪勤精勵と稱することが出来ない。ロンドンのインフアントスクールの教師は實に眞面目に幼兒の教育に盡粹してゐると感心したのであります。單にこのベビークラスのみでなく次の組もまたその次の組も同様で教師がそれ／＼努力してゐることは到底小學校上級の方とは比較にならぬ。このインフアントスクールの教室は後方が僅かな階段になつてゐるのは變であり五歳六ヶ月と十ヶ月の二組はお話でまとめてあり次の組を受持つてゐるのが若き女教師であるがいろ／＼と工夫してゐます。どこの組でもグッドアフターヌーンサーアと校長が指圖して私に對し拶揆させるには感服し、また教師がいろ／＼のものを私に指示する爲に幼兒の方を忘れてゐると校長が臨機にいろ／＼の作業をさせたり靜かにすべきことを注意するなど全く手落がないのであります。私はこの幼稚學校を參觀して男子小學を參觀した

ときの落膽をスツカリ取除くことが出来る位に感心いたしました。教法に幾多の改良すべき點があるにせよ、教師がよく教育のため努力してゐることは實に吾人の模範とするに足ると考へさせられたことを茲に申上げて置きたいと思ひます。

次の日再びこのインフアントスクールを參觀に出かけましたが當日の出席狀況は次の如くであります。1から7までは年齢順で7は最年少組であり、右列の數は在籍者、左列は出席數であります。

	56	60
1.	43	60
2.	48	60
3.	48	60
4.	26	35
5.	25	35
6.	48	55
7.	48	55
	294	365

このインフアントスクールの在籍生徒は三百六十五人で一組六十人もあることは我國小學校と大差がありません。先づ參觀したのが6の組で5の組と合併せられることがあるので衝立二枚で仕切つてあります。壁にはポストカード型の猫や犬などの單語と圖とのカードを澤山吊してあります。普通掛圖の半分大の單純なお話と繪とがカードにして吊してあります。黒板の下には7までの數圖があり棚の上には小さな計數器が一つのせてあります。また草花が瓶に挿してその棚の上に載せてあります。教室は階段になり後方が十程位づゝ高くなつてゐます。幼兒は繪の上か下にその名稱の單語をさがして置くことと

數圖の所に數字を置くことの作業であります。それ／＼異つた材料で教師は巡視してその正否を検する
のであるが生徒が多いのにそれ／＼異つた作業をしてゐるので教師の目のとゞかぬ場合もあります。二ド
ックのところはマンを置いたり、ビッグの所にジャックを置いたり4の所に2を置いたりしてゐるもの
が少くありません。尤も満五歳六ヶ月の幼児としては程度が高すぎることも一理由であります。

次の5組を見ると6組と大同小異てありますがこの組では數圖は一〇まで擴張せられてゐます。しか
し成績のよくない兒童も少くありません。我が國の幼稚園の年長兒に小學校第一學年の算術教授を施し
てゐると同様でありますから出來の悪い生徒のあることは勿論でありますし殊にロンドン東部の幼稚學
校のことでもありますから家庭の注意も不充分勝てありますし教師の努力してゐる割合に能率は高まりま
すまい。

次に7の組最年少の所謂ペー組でありますがこの教室は階段ではなく平教室で前の二人掛の机とは
異り卓子式であります。二人掛の卓子を三個組合せて八人のグループをつくつてゐます。前の二組より
教師は老練であり熱心のやうに見えます。壁にはアルファベット付の動物の玩具又は繪がかけてあり自
動車もあれば人形を載せた乳母車もあります。人形の家もあり馬もあります。また風船玉で數圖を示し
た掛圖もあります。生徒は單語とアルファベット、數圖との作業をしてゐます。

次に參觀した組は3の組で教師は圖畫が上手でも話の掛圖の繪も自分で描いてあります。中々うまく

出來てゐます。文字を太く書くペン先を特に見せてゐます。生徒は繪をいろに切つたものを組立てる作業をなせるものが一列あります。只合つてゐるだけを喜び正しくなくともかまはぬらしい。これは一寸日本の兒童と異なる所であります。次の列の幼児は自由畫をかくものと草花を寫生してゐるものとあります。満六歳の子供にしては中々うまいものである。また一列は粘土でポットなどをつくつてゐます。粘土を石盤の上に載せて貰つてその上で小さな細工をしてゐます。文字練習には厚きボール板を使用しそれを消す雑巾が各机に必ず挟んで立てゝあります。それから女兒は編物をなし男兒で組物をなしてゐるものが多くあります。これは日本でない作業で一寸莖をつくる形のものであります。針をつけた緒を以て縫ふやうなものであります。女兒の編物に對した作業だが果して教育的價値はどんなものか。尤も満六歳の幼児日本に於ける組み紙細工と大差がないと思へば差支ないと思はれます。この組などでは幼児が教師や參觀者が入るとドアを開閉することに躓けてあります。必ず正しくその役目をなすのであります。

4の組の教師は尤も可愛らしい日本の女性らしい所がある感じのよい先生であります。作業は數圖に數字をあてる作業と繪ばなしのカードに單語をあてるものとであります。生徒の誤つてゐるものを指示してゐると急いでそばに来て直してやり「この兒は甚だのろい」といつて顔を赤めてゐます。掛圖もこの教師が書いたものと校長は指示せられ顔を赤めてゐるが誠にうれし想てあります。兎に角兒童に對し暖

味のある取扱をなしてゐると思はれました。

1の組を見るとこれは最年長の組程あつて出席が多く子供が至極可愛い。西洋の赤坊は何だか可愛ゆくないが十五六歳までの子供は至つて可愛い。殊に七八歳の子供それも男兒は中々に可愛い。常にニコニコした表情をすることは日本の子供と異なる所であります。外國人を見てすますのが日本の兒童の常習、しかも小さな子供が怒つた顔をする形となります。しかし西洋の子供は外國人を見てニコニコと喜びの表情をするから單身異境にあるを忘れお友達のやうな氣持が致します。

この組では繪の部分に單語を置く作業、面積による數圖と數字とをあてはめる作業、單文を單語にて綴る作業等を行つてゐるがこの組では誤をなすものは少いのであります。しかし單語で單文を組立てる作業は中々六ヶしいと見えおそいのが普通であります。

2の組を見ないで他の部に行かんとすると女校長はまだ一組あるから見て呉れと申します。多分公平を期する考からだと思はれます。そして2の組の教師に時間がないから唱歌をやれと命じました。教師は眞面目な顔して拍子をとり生徒は二つの歌を歌つたがこれは私にはよく分らないためでもあるがあまり感心出来なかつたのであります。しかしピアノも使用せず簡単に唱歌することは一寸日本では出来ないことも知れませぬ。

英國の小學校はこの學校參觀でも分るやうに校長が案内することが多く従つて實際教師が教授をする

情況を視察することが困難であります。殊に幼稚學校では個別作業が多いから兒童の活動狀況は比較的によく視ることが出来ても教師の所謂授業に觀ることが困難であります。

更に十二月廿二日カロデン學校の幼稚學校でクリスマスを見たのであります。幼稚學校の校長からは非クリスマスに来て參觀せよ。當日は幼兒にとつて最も嬉しい日だといふ話であつたから實はどんなものかと好奇心を以て參觀に出かけました。用事のため午後二時より二三十分おくれて同校に行くといふ講堂に幼兒が繰込す最中でありました。各教室から入るには都合よく講堂があります。比較的年長の幼兒達はいろ／＼の格恰をした帽子をかぶつて既に講堂敷敷の上にはすはつてゐます。年少の幼兒達は各組それぞれ／＼の假装をして講堂に入つて來ます。引率する教師達は何れも妙な上つばりを着てゐます。甚だいそがし想に見えます。その筈で満五歳から満七歳までの幼兒五六十人受持つてクリスマスの學藝會とも稱すべきものを練習しこれを發表するのであるから幼兒が活動する程教師が骨が折れる譯であります。幼兒はどここの國でも腕白で惡戯ずきであるがこの學校の子供達は比較的従順に見えます。尤も一般にヨーロッパの子供は平常家庭でも放任せられ、犬猫程にも可愛がられないから我儘な所が少い。子供は子供らしくといふことが育兒の根本方針であるから大人に甘へたりつき上つたりすることが出来ない。殊にこの學校の如く貧民の子供達では我儘に育つやうがないからかく従順なのであらうと思はれます。しかし内にひそむ勢力は幼兒をかつていろ／＼の活動をさせるから之を監督指導する教師は中々骨が折

れるに相違ないと感心してゐますと全體の幼兒が講堂に集まつたのであります。そこで女校長は靜かにく〜と前觸れして只今サンタークロスがお出になるから皆眠つて居れと申します。すると幼兒は悉く眠つた眞似をしてゐます。中には四方をきよろ〜と見廻してゐる幼兒もゐるが多くは眞妙に待つてゐます。そこへサンタークロスが白い帽子に白い髭、赤いドテラに白い縁をとつた着物を着て杖をつき向ふの廊下から出て來ます。勿論サンタークロスの歌がピアノの伴奏で歌はれてゐます。これはサンタークロスを取巻いて出て來た男兒 男兒小學校の生徒)が十餘人て歌つてゐるのであります。サータークロスが講堂の眞中幼兒達が眠つてゐる間を靜かに通りすぎると女校長はサンタークロスに着席をすゝめましたのでクリスマス樹が奇麗に飾られた前にクロスは腰掛けて白いあごひげを撫てゝます。この時眠りからさめた幼兒達は驚異の眼をサンタークロスに集めてゐます。多分このサンタークロスは男子小學校の教師が變裝したものであらうが至極よく出來てゐるからその正體は幼兒達にも分らないのでありませう。

サンタークロスの後にあるクリスマス樹は五六尺もある松の樹に金銀の紙裝飾をなし木綿をかけて雪の如く見せかけてあります。また講堂の四壁にかけてある額は悉く新しさものと取替へしかも名畫や幼兒向の繪で何となく樂園の氣分を誘ふやうになつてゐます。その他の裝飾は簡單であります。鮮明で單純でありますから幼兒の氣分を引立てるには十分であります。女校長が一々の紹介で幼兒の演

藝が始まる。順序は年少の組から年長の組に及ぶといふのでありますが各組それ／＼の服装をしてゐるのはその組の演藝をなすためでありませう。假装した寶船が一隻講堂の真中に持出され、その中に女神と赤兒を抱いた少女とが乗込み船の周圍には動物の頭をかぶつた幼兒達が並び更にその組の幼兒が取巻いて茲にお伽噺が演出せられます。女神が動物に何かなめさせたり、しりをはいたりするので大笑となります。更にそのボートが利用せられて動物の頭をかぶつた幼兒が出て來ます。犬も象も豚も猫もまた孔雀も雀も雞もゐます。いろの動物が出て天使の指圖によつて踊る様は誠に可愛いのであります。次に水兵が出て來て活動するといふ有様で各組それ／＼一藝を演ずる。主としてお伽噺を學校劇化したものであるからいや味は少しもないのです。服装は凡て實際化してゐるが多くは紙で教師が準備したものであるらしい。花笠でも動物の頭でも皆な色紙で出來それが教師の考案であります。それで教師の技量の展覽であるやうにも見えるが幼兒の劇であるから止むを得ないことでありませう。このクリスマスに出席してゐる父兄は甚だ少いのは止むを得ないとしても女兒校男兒校の職員などがモット多く出席して景氣をそへてもよいと思はれるが英國ではそんなことが問題とならぬのでありませう。幼兒達は既に練習中屢々見てゐる爲でもありまた午後の作業であるから疲れてゐる爲でもあらう、自己の演出に氣乗のしないのは止むを得ないとしても他の組のもあまり興味をそゝらぬやうであります。殊に何時も腰かけてゐる幼兒が講堂で床板の上にすはつてゐるのであるから自然騒がしくなるのも無理がないのであります。

す。

各組のプログラムが終はると女校長がクリスマスを祝つて日本ならば萬歳に相當する喝采を三唱すると幼児も之に追隨して三唱いたします。更に元校長であつた來賓がクリスマスを祝ひ幼児の演藝が非常によく出來たと賞して萬歳の三唱をいたします。また女教師が立つて同様の喝采をしてこのクリスマス プレイが終はりました。かくて各組それ／＼その教室に歸つてクリスマス御馳走になる。幼児よりも先に教師が紅茶をのみお菓子を食つてゐるのは英國の習慣かも知れないが吾等日本人には實に奇異に感ぜられます。幼児達はお菓子を二つ紅茶は女兒校の生徒が分配して呉れるのを待つてゐます。女教師達は幼児をそのまゝにして盛にのんでゐます。更にいろ／＼の玩具がかごに入れて各組に分配してあるが皆兒に分配せられるものであります。またサンタークロスは大きな袋にオレンヂを入れて各組をまはり幼兒に一つ／＼分配してゐるのであります。何處からか寄贈せられたものをサンタークロスの名によつて分配せられるので幼兒にとつては非常にうれしいクリスマスに相違ありません。學校のクリスマス幼稚園學校のクリスマスはかくて終つたのであります。晝の短いロンドンの學校はもう眞暗になつてゐました。

こ の 頃

千葉縣女子師範學校附屬幼稚園

(一) 幼稚園ごっこ

初夏の日ざしを背にうけながら一生懸命お砂遊
びに夢中になつてゐた榮子さんに厲子さん

「あゝ幼稚園ごっこよ」

「しない？ 早く行きませうよ」

フルヒ・シヤモジ・金盞を箱の中にしまふと一散に

お遊戯場へかけ入つて、

「けい子さんよせてね」

「あたしも させてね」

ピアノの前には五人掛けのお椅子が五六脚長方形に並べられもう十二三人の(女兒)園児が腰かけピアノの前にはひざ技さんの先生が巧みに両手をうごかし(ふたをしたまゝ)そばにはけい子さんの

先生がお口もお手々も一生懸命・結んでを始めて

ゐるところだつた。又二三人の女兒が

「入れて頂戴な」

「私もね」

「あたしも」

次から次へと女兒のみ入園生徒はたちまち二十

人を越へた。ところで先生のけい子さん、

「ああ、お花の組お遊戯をさせよう。お立ち」

と両手を一寸體前に出して〇〇先生の御様子其の

まゝ

「タ タラターララ タ タララ タタラターラ

ラ タ タララ」

お口のマーチで上手に圓形を造りお遊戯が始ま

つた。雀の子、キュービー、ほたるこい、鬼さん大きなお日様等たぬぎれになるまで踊つてかへりはスキップで元の場所へ、

「さあ雪組のお遊戯よ、」

又先生を先頭に圓は造られ同じお遊戯がくりかへされた。先生のお椅子に戻つたけい子さん、

「つね子さん、お唱歌を唄つて頂戴」

呼ばれたつね子さんは得意さうに「ほたるこいこいを唄つて席につくと一齊に拍手がなつた。つといて獨唱が四五人もつとぎ皆先生にほめられて大得意。

「こん度はお外へ出ませうよ、お立ちして頂戴」

先生二人の口ずさむマーチにピタリと足拍子揃へて一同はお遊戯場を出て行つた。いつも先生の前では決してお遊戯をしない希子さんも泣き虫の美ちゃんもはにかみやの道子さんも一緒に

(二) 汽車ごっこ

お遊戯場の一隅では初符賣りに(今朝大きい組の幼児達が晝用紙を切り、イナゲ・マクハリ・ツダヌマ・ウヘノ・ヨコハマ等の初符を造つた)忙しい。そばにある九人乗りのシーソーは男女のお客で満員だつた。運轉手兼車掌の萬里さんと良平さんは大満足で、一生懸命運轉してゐたがやがて、

「ピリ〜〜〜」

口笛がふかれると同時に運轉臺からあつた萬里さんの車掌さん左手を横へのばして、

「イナゲイナゲ」

と呼ばわりつゝシーソーを一廻り、希望の地についたお客は車掌に切符を渡して下車し又新しい切符を買ひに出掛けた。新たなお客をのせた汽車は車掌の口笛と同時に一回「ギシツ」と後もどりして又進出した。乗つてゐるお客様は皆にこ〜其の内に又、

「ピリ〜〜〜」

「マクハリーマクハリー」

二三名の乗客が變つて次は「ツダヌマ」日頃聞きおぼへて大人も及ばぬ口まね上手に各驛の口調そのまゝで、上野・東京・横濱と四五十分も汽車は進行し續けた。

(三) 戦争ごつこ

十五六名づゝ敵・味方に分れた兵隊は砂場の前に整列した頭にはカーキ色の幼稚園帽もふさわしく小さい組の元ちゃん、みつちゃん等も皆木銃肩に大將の指圖通りになつてさも得意さう……

「右むけ右・左むけ左・前へ進め、」

兄さん達から見ならつてゐる次郎さん、通夫さんの大將を先頭に可愛い兵隊さん達は足拍子揃へて園舎の前まで來て止つた。こゝで敵、味方は分れて一方はクローバーの花壇へ、一方はそこから約三間ばかりはなれた植込みの中へ陣取つて、もう寢打ちが始つた。せい一ばいの大聲をあげて

「ドン〜〜〜〜〜」

銃聲勇ましく五六分も續いたかと思ふと、

「トツカン」

大將の命令で皆は總立ちとなり、一同が

「ワア、………」

ときの聲をあげて前へ進み、入りみだれて鐵砲はサーベルのかわりに使はれ劍先さにさわつた者はコロリ〜とたほれてはあき、たほれては又あき上り何度も生きかへつて一生懸命活動は續けられた

「寢打ち——」

大將の命令で又クローバーと植込みにかけ入つた一隊は盛んに銃の引がねを引いて

「ドン〜〜〜〜〜」

寢打ち、突貫とかわるがわるにあきもせず精一ばいの元氣でかけづり廻り、一同がはやすとさの聲や銃の音に道行く人々はしばらく足を止め、あ

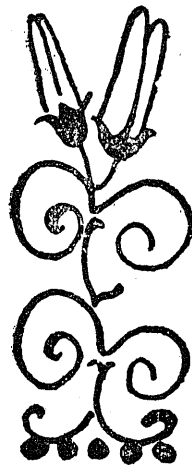
室の窓は可愛い女の子のお顔で埋つた。

備考 四月入園當時は元氣良い子供は保姆達の兩袖に五六人づゝもさがり、はては先生のうばい合ひ、弱い子供は附添の袖の下にかくれたり、又遠くの方では友達のお面白そうな遊びにながめて居る仕未に私達は毎日の遊びを考へる事に一苦勞でした。ところがしらすくの間附添をもはなれ遊びの中心も先生でなくてすむやうになり僅か七八十日ばかりたつたこの頃ではすつかり子供達の世界になつてお互ひの間に色々の遊びが考へだされ平和な一日一日が續いて居ります。幼稚園で、汽車ごっこ、戦争ごっこ、又はお砂遊びにまゝごとくに幼兒達はお互に發表し、表現し合つて種々な活動をいたして居ります。どちらにもありふれた事とは思ひますが、あまりに平和なそして喜ばしいシーンと思ひ二三つ簡單に描寫して見ました。

(二二・六・二〇)

◎宵待や女あるじに女客

蕪村



◎名月や池をめぐりて夜もすがら

芭蕉

考へさせる話

(幼児に就て是れだけは心得べし)

大阪齒科醫學士 高 安 光 三

一、序

私は連日連夜各學校幼稚園を巡回して口腔衛生の講演をやつて居りますが、至る所非常な歓迎を受けて居りますのは一つは之が實際的に生きた問題であり、一つは「喰はず嫌い」であつたこの方面の話にも觸れになつたから益々その申込みが多くなりました。或時は保護者を相手に、或る時は園児を前に、なるべく多方面から通俗的に、且つ興味的に、實際的の智識を歸納法を取つて、話してありますので力強く説く事が出来ます。幼児は喜び、中には園の先生が腹をかゝへて、飛び出される事も少なく有りません。其の一端を茲に、

書いて見ました。

二、兎から

今年は兎年で御座います。兎と云ふものは後足が長いから山へ上る時は非常に早く馳け上がる事が出来ませんが降りる時となると、ちと具合が悪い、其處をねらつて獵師は兎狩をやるのです。之は鼠類と同じくよく繁殖する。一年に、廿四位よく子供を生みます。人間より遠去かる下等動物程よく子供を生む、人間は一年かゝつて唯だ一人、二百八十日間て一人しか生めない。中には二人、一諸に、又中には一度に三人と云ふ氣の早い御婦人も有りますが、兎は年に廿四位、魚は一度

に四萬匹、黴菌となると、一匹が一日後に、四七七、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇〇、勦定が出来ない程増殖します。

その兎は鼠と同じで晝はよく眠る。夜になると、起出だし悪い事をする、鼠、盗人、口の中の黴菌と同じで、夜働く、てその以外はよく居眠りをする春など山ふところのボカ／＼日當りのよい所で眠つてゐる、龜さんに起されて向ふの小山迄競走をして負けた、油断しては行けない、と皆さんに教へてくれる。夏になると、かち／＼山で狸をこらしてお婆さんの敵打をした。秋になると、月の中に入つて餅をついてくれる。支那では薬をつくると云ふ。冬になると、と兄さんやお父さん達が鐵砲擔いて棒をふり廻して兎狩りをし、皆さんが大きくなると、兎汁として、うまい／＼と舌鼓を打ちます。

兎の實驗 其の兎の兄弟を二匹とつてくる。一匹

の兎には普通の食物を與へ、今一匹には少しづつ、の白砂糖ショウを毎日與へておいて二年を過ぎる。二年經つてから其の二匹を取出して試験をします。一匹の兎は皆さんの爪で齒を缺くと、堅くて爪も立たない。齒の白い所は珫瑯質と云つて鐵よりも石よりもガラスよりも水晶よりも堅い、(三分の二が無機鹽類の石灰の棒、三分の一は有機質)その砂糖をやつた方の兎の齒は爪でかくとポロ／＼と碎けてくる。これは砂糖分が悪い作用をするからであります。

皆さんは、そんな事を知らない。幼稚園から家へ歸ると、すぐお母さんに、今日の習つた事をお話する人もあるけれど中にはすぐに鞆も放り出してお母さんへ、「一錢頂戴。」近頃の子供はそんな悪い事は云はない、「十錢くれ、五錢くれ」と猶更悪いが、そのお金を貰ふと菓子屋へ走つて行く。その一錢銅貨一枚に、黴菌が約十四萬五千〇八個も

附着つてゐる。それを知らずに叮嚀な子供はそれを口の中に入れて舐ぶつて行く。そして菓子屋へ行くと、菓子屋のお神さんがその汚ない口の中に、齶齒の澤山ある口の中に、一日黴菌が四億匹も住んでゐる。その汚い空氣を紙袋にぶつと吹込んでその中に菓子を入れる。子供は喜んで菓子を喰べる。子供は確かに菓子を喰べてゐる。けれど一方から考へると、菓子の中の砂糖分が子供の齒を、更に命を喰べつゝあるのて有ります。

三、砂糖の害

之は諸博士の實驗が示してゐる通り精製した白糖を多くとると、血の中の酸度を高めて體內のアルカリ度と平衡がとれなくなる、之が次第に蓄積してアチドーデスの一定型を與へて行く。どこかしら悪くなる。遂には砂糖分を醫師から撮る事を禁じられる。營養不良になる。一方砂糖分は口の中で體溫の攝氏三十七度に温められて、酸酵作

用を起し、乳酸を造つて齒の硬組織を脱灰せしめ、他の齶齒細菌等と共同作用を取つて遂に、齶齒を造る。故に食物を咬斷する事がむづかしくなり、勢ひ甘い菓子類を盛んにとり、内外から幼ない子供の體質を變へて行く。と結核菌に取り付かれ易い體質となる。實に、結核質の人程砂糖分を好むものであります。

四、幼兒の死亡

其れて内外から害を受けて益々幼兒が死んで行く率が高くなる。

現在、世界中で日本の幼兒死亡率は世界第一である、殊に東京大阪の大都會程よく死んで行く。大阪の舊市内と新市とを比較すると、新市は益々幼兒の死亡率を高めて行く。一方から考へると、新市程、駄菓子屋が多い、日本人の主要食物である米屋の六倍の菓子屋を有してゐる。その駄菓子屋は、層つて子供を生んですぐ死んだ。又生んで

又死んだ、醫者と、葬式と何やらかやて段々畜へた金は減る。遂に仕方なしに駄菓子、(一文菓子類)を賣り出す、其の菓子が他の子供の命を縮めて行く。因果應報 水車の様に死の神は廻つて行く。

故に大都市の周圍部程死亡率を増さしめて行きます。

五、昔

昔日本でも料理法に砂糖を使用せない。往昔には甘味料としては天然に出来る、甘類、果物の中に含んでゐる甘味……蜜柑でも、砂糖大根でも又砂糖蔗でも……又は蜂蜜、糖蜜がある。之を用いてゐる。餡コシは甘いものである、けれども昔の餡は辛い、何故なれば鹽をつかつてゐる、鹽あんと言ふ、今でも極く山里へ行くと、鹽あんを使つてゐる家庭は随分ある。そんなものを食つてゐる人は齶齒はない。往昔の日本人の頭蓋骨を調べて見ても齶齒は極く稀である。又原始人と同じ様な

生活を現在でもやつてゐる野蠻人類には齶齒は至つて少ない。三〇——七%位であるが文明的生活者には益々齶齒が増加して行く。我國の人々は約九〇%は持つてゐるだらう。

殊に大阪市中央幼稚園に於ては平均九十三%を示してゐる。京都市幼兒は最も多いのは京都市は昔から饅頭や飴王が名物で、今でも菓子類は随分と凝つて造つてゐる。宮内省へ納入してゐる。

鐘屋や虎屋の饅頭も名高いし、又聖護院の八ッ橋も一極名高いので之も關係が有ります。朝鮮の子供達でも文化に浴してゐる京城市内の生徒は平均五十三%を示し、朝鮮の地方の生徒は平均二十四%強を示してゐるのを見ても分ります。近頃内地へ入つて來た鮮人は内地へ來ると、齶齒が増加して來つてつい金齒をギラつかせる様になつて來ました。

○動物には齶齒が無いのは當然です、それは熱食

をせない。智恵がないから熱い元となる火を造る事をしらない。之は犬でも馬でも同じであります。之を猫舌と云います。その代り、火で砂糖を造る事も知らない、自然食が主である。であるから歯牙が強健であります。猫を飼つてある人猫の口を見て御覧なさい。齶齒等一つも有りません。犬の口を見て御覧入歯してある犬一匹も居りません。でも近頃動物園の動物には齶齒が増加して來ました。

大阪の動物園長の林先生に聞いて見ると、『近頃の動物は益々贅澤になつて來て齶齒がふへて來た。殊に甘い食物を好むもの或は反芻動物に多いのは面白い事であつて、象は齶齒が一番多く、甚だしいのは其れが爲めに骨膜炎になつて斃れるものもある。鹿やカンガルー鰐や大蛇に直齒痛があり、猿も多い、之は皆さんが動物園へ行つた時ついでに食ひ残りの食物や甘いビスケット等を與へるから

であつて、『動物に、食物を與ふべからず』と立札が立てゝあるのもよく御承知の事と思ひます。

てなるべく、甘い物を食べない様に、又食べる事を教へない様に、つい無駄喰ひが過ぎると三度の御飯も食はずに駄々をこねて一時間以上かゝつて漸く一杯の飯を食ふと云ふ様な始末て之は幼稚園のどこの家庭でも困つてゐる所であります。て専門家の私達の講演はたとへそれが一時間の講演でも、質問攻めの爲に一日を放つてしまいます。大阪でも御津幼稚園長の大道てる子女、史久室の幼稚園の藤本女史、精華幼稚園の高濱さみの女史、芦池幼稚園の戸田倭女史、集英の赤羽よし子女史、北大江幼稚園の八木、岩橋女史、九條幼稚園の渡邊先生、桃園幼稚園の米山えん女史、等は最も熱心であり且つ眞面目に之の問題を取扱つておられる。それだけ園児が幸福であり保護者に取つて國家にとつて幸福である。

現今幼稚園に於けるこの口腔衛生教育乃至教練は不可缺の要項であつて、之を意に於いてない幼稚園は實に、不具の幼稚園だとも云ふ事が出来ませぬ。

今少し、皆さんと共にこの種の教練を幼児に施して見たいと思ひます。即ち、園児にお面白く口腔衛生の話の聞き、保護者に家庭に於ける注意をうながし、園の先生には講習會を開き又一方齒磨き教練等を實際化する事でありませぬ。皆さんの幼児の口の中には餘りに不潔である、餘りに齲齒が多い、餘りに不健康であります。それでは未來の日本が危なれます。皆さんのお命を永遠に傳えるものは貴なたの子より外はないのです。

幼稚園の兒童は國の寶で御座います、我等専門家と、園の先生と、園児の保護者達と共に重大問題としてこの口腔衛生を今少し具體化しませぬては御座いませぬか。

○たゞ一人いつ迄稻を刈る人ぞ

虚子

○木曾川の今こそ光れ小鳥狩

虚子

○手を引いて踊の場まに走りけり

虚子

○秋風に例れて悲し後の雛

虚子

○秋の灯の塵に置きし鼓かな

虚子

七夕祭

東京市富士見尋常小學校附屬幼稚園

私の園では五六年前から、行事の一つとして毎

吹流しは梅組の子供が先生と共に糊をつけてつ

年七夕祭をして來ました、七月の一日頃から松竹梅の幼児がいつしよになり、その仕事にかゝります、色紙を以て短冊や吹流しを裁ちきり、着物や瓢箪や團子や扇子などを作り、之に子供は自由にすきくゝな模様を描きます、又織紙を細くきり澤山の提灯を造ります、摺紙ではいろくゝすきなものに自由に作りま



(二) 祭夕七園稚幼見士富

ぎ合せました、短冊には天の川、七夕まつり、ほしまつり等と加さ、又自分の名前をかく子供もあります。

斯くして準備が出来ますと、六日の日には二本の美しい七夕笹が家庭に高く立てられます。そして此の日子供は、次のやうな小さな「すりもの」を持つて家へ歸ります。

「七夕祭をかね保護者懇話會を開きますから御出席を願ひま

す

我園では、かゝる機會に父母兄姉の來園を求め
るのを例にして居ります。

今年は、折あしく雨であつたので、遊戯室へ此
の笹竹を立てました、七月には午前九時半迄に、
子供と共に保護者は此の室にはせまい程に集りま
した、新らしい青い竹と笹の葉との間に紅白黄い
ろくの色彩がいろくの形をして上や下や外や
内に風に動いて居ります、長い吹き流しや網は下
まで届いて居ります。

校長は「お船の中から見た天」といふやうなおは
なしを簡單にしますし、續いて先生は、「雨のたな
ばた様」のおはなしを面白くしました、それから
子供の獨唱や、一人遊戯をなし、松の女は、「流れ
星の遊戯、男は「牛若丸」竹の女は「シャボン玉梅
の女は「ホタル來い」竹の男と梅の男は、いつ
しよに「金太郎」の遊戯をしました、之は全く子供

ばかりでさせました。

終つて記念撮影をし、一同へお菓子をやり、父
兄母姉と親しく快談をして十二時散會しました。

口繪寫眞は、その時の模様であります。



○起し繪を照らす西瓜の燈籠かな

子規

○走馬燈囃せばいよく廻りけり

鳴雪

疫痢の話

醫學博士瀨川昌世氏が科學知識八月號に救急講話として載せられたところ、家庭の親も幼稚園の保母も是非心得置くべき話である。

乳幼児疾病の危険性

乳幼児の疾病程危険性の多いものはあるまい、幼弱なる乳幼児が病菌や病毒に對して抵抗力の弱い事は特に説明する迄もないと思ふが、生命に直接關係のある心臓や腦が容易に病毒に侵される特性を持つて居る點は殊に注意す可き事項である。

然のみならず乳幼児は疾病の際に起る單純な症狀に對しても堪え得られぬ場合が往々ある、肺炎の呼吸困難は最も良い實例である。

肺炎の時には肺臓組織に浸潤を起して呼吸面即ち空氣との接觸面が減少し、瓦斯交換に障害を來す、其爲に自然呼吸回數が増加して空氣の不足を補ふ様になる、これが肺炎の際に呼吸頻數を起

す理由である。此症狀は強壯な成人ならば別に介意するに足りないが、乳幼児では直に呼吸困難と云ふ危険なる状態に陥るのである、何故ならば頻數な呼吸運動は横隔膜・胸廓腹壁等の呼吸筋を過度に働かせ、其結果疲勞を増し、遂に能率が減じて呼吸は次第に淺薄となり、充分なる空氣を吸入することが出來ず、茲に呼吸困難なる重篤なる症状を現はすに至るのである。言ひ換へれば呼吸筋の薄弱な爲に窒息の危険に直面するのである、現象は乳幼児肺炎の特性として小兒科醫の殊に留意する要點である。

痙攣は乳幼児の疾病には屢起る症状であつて腦膜炎又は疫痢等の痙攣は最も恐れられて居る。

之等の痙攣は何れも脳膜や脳實質に病變があり、或は毒素の爲に侵されて起るのであるが、單に高熱の爲に脳の神經細胞が刺戟されて劇烈な痙攣を起すことがある。斯様な痙攣は幼兒に特有であつて、此單純な痙攣でも乳幼兒には甚だ危険である何となれば呼吸筋に痙攣が及ぶと窒息の惧があるからである。

抵抗力の弱い點を病兒看護の際に注意せぬと思ひがけぬ不幸を見ることがある。疫痢等で劇烈なる痙攣高熱が突發する時、頭部心臓等を過度に冷却することも乳幼兒には危険である、此所置は子供の體温を急激に奪ひ、體温の變調を來すこととなるが、乳幼兒にはかゝる急激な變化に對應してこれを調節する機能が未だ充分發達して居らぬ爲に、體温は異常に下降して虚脱状態に陥り、危険に瀕することは往々遭遇する事實である。

心臓や腦が侵され易い 病毒が乳幼兒には容易

に心臓や腦を侵して、直接生命に危険を及ぼすことは大人に比して遙かに多い。輕症でも又は病氣の回復期にも病兒の急死する災厄は稀でないが、これも此種の危険性に基くのである。其他如何なる疾病でも、病勢の少しく重い場合には心臓や腦が常に多少の障害を被るもので、小兒科醫は常に此點に注意を怠らない。幼兒によく見る口唇や指端のチアノード(紫蒼白色)手足の厥冷、脈搏頻數、微弱等は心臓に變調を來した證據で、手指振顫、刺戟性過敏状態、譫語や固視凝視嗜眠等は腦に異常を呈した爲に起る。此等は小兒に特有な危険性である。

疾病の急變性 乳幼兒疾病の急變し易いことも周知の事實である。夜中發熱して疫痢疑似症と診定せられた小兒が、痙攣を起して翌朝心臓痙攣で斃れ、朝單純な寒胃であつたのが夕には肺炎に變じて危篤となるのは珍らしくない。これは病毒に

對抗する防禦反應作用が充分でないことに原因するのである。

以上述べた乳幼児疾病の危険性を最も多く具備するのは疫痢である、次に疫痢に就て述べることにする。

疫痢とはどんな病氣か

疫痢は主として三才より五六才迄の幼児を侵し初夏より晩秋の候に流行する恐る可き急性消化器系傳染病で、罹患者の八十%位は死亡する。其劇烈なるものは發病後數時間で既に心臟痙攣で斃れる。斯く急劇に幼児の生命を奪ふ理由は、腸内に發生した猛毒が直に體內に吸収されて心臟や腦を侵すからである。故に救急の目的を達せんとするには、

(一) 出来るだけ早く腸内に於ける毒の産生を防止して腸内容の排除につとめ、

(二) 既に體內に吸収された毒素を中和無害な

らしめ、其排泄を促進し、

(三) 心臟や腦の機能を援助して痙攣を防ぐ様にすることが必要である。

以上の所置は一刻を争ふものであるから、之を醫者に依頼するまでもなく、家庭で應急所置をとることが望ましい。實際家庭での應急處置の時期や適不適が、愛兒の救治に重大なる影響を及ぼす場合が多いから幼兒を持つ家庭では疫痢の知識を是非得て置く必要があると思ふ。

疫痢の原因

曩に述べた様に、疫痢は傳染病であるから微菌の感染によつて起るものであるのは云ふ迄もない。然し原因菌は未だ確定されないが、赤痢菌の一種か又は之に類似の微菌であることは確かで、體內には口から侵入するのである。其侵される部位は腸であつて、小腸が主として侵される時は病狀は重い、之に反して大腸が侵されると病狀も輕

く、且赤痢に類似して來る、此點から疫痢は赤痢菌が小兒の小腸を侵した場合に起り、従て赤痢の一種類に他ならないと唱ふる學者も少なくない、實際疫痢患者から大人が感染すると赤痢の様な病状を起し、大人の赤痢が小兒に感染すると疫痢のやうな病状を發する。之等の點から赤痢疫痢同一論が學者の間には可成り勢力があつて、此問題は今以て解決されない。兎に角赤痢患者から幼兒が感染する場合には、恐るべき疫痢を生ずる事があると云ふ事實を知つて置くことが緊要である。

疫痢の誘因

どんな傳染病でも發病するには誘因が重要な要約であるが、疫痢の場合には微菌の侵入よりも一層必要條件となる場合が多い、従て誘因を眞の原因と思惟する人々も相當ある。

誘因としては、不消化物(固形物)の丸嚥、過食、飽食後の寢冷などである。疫痢患者の排便中に、

誘因とも見る可き果物の碎片(バナ、林檎、密柑の袋、乾葡萄等)豆類、漬物等の多量を發見する場合が多い。云ふ迄もなく果物は一般に變敗し易く、腸内にて容易に酸酵して毒素の發生を助ける又小兒は果物をよく咀嚼せずして嚥下するものなれば、其碎片が腸壁に對して機械的刺戟を與へ、有力なる發病の誘因をなすものと見做されて居る。寢冷の爲に急劇に腹部を冷すことも輕視出來ぬ誘因である。初夏又は晩秋等夜間冷氣を感ずる候或は夕立驟雨の爲に氣温の激變する際に疫痢患者の簇出する事實は、身體を冷やすことが主要なる誘因をなすことを如實に物語るものである。

體質 感受性

本病の發病狀態や病症の輕重は小兒の體質と密接な關係を持つものであつて、淋巴性體質の者は罹患し易く、且重症の場合が多いと云はれて居るが確な證據は無い。しかし兄弟が同時に、或は時

を異にして、屢本病に侵さるゝことは明な事實であつて、時には兄弟數人が本病の爲に斃れる不幸を見ることも稀れてない。これを見ても同一家族に罹患し易い素因の存すること疑ひない所である。故に若し兄弟の一人が重い疫痢に罹る様な場合には、他の兄弟も罹り易い素因あるものとして充分注意を拂はねばならぬ。

一般傳染病の通則として、一度罹患すると種々の程度の免疫を得て、再患せぬか又は再患しても軽く経過するものであるが、疫痢は之れに反して一度罹患すると反て罹り易い性質を帶ぶる様になる。同じ小兒が毎年重い疫痢に罹ることは度々経験する所である。然し此事實は罹患し易い性質を獲得したと見做すよりも、此小兒が元來罹患し易い素因を生れながら有するからだと解釋する人もある。

症 狀

疫痢は特徴の多い病氣であるが故に、醫者でなくとも常識ある注意深い人々には、疫痢と推定する位の事は強ち難かしい事ではない。特徴は(一)發病の状態(二)特異中な毒症狀(三)糞便の性状等である。

(一) 發病の状態

急劇に發病するのが特異である。今迄元氣よく嬉戯して居た小兒が、突然高熱を發し不活潑となり倦怠無力と云ふ有様で、ガツカリしてゴロ／＼横臥する様になり、頻に眠がり欠伸等を頻發する、或は高熱と共に頭痛腹痛を訴ふるものもある。とかくする内に重症のものは痙攣を起し意識がなくなり、譫語を發したり苦悶し興奮状態を呈して床上に轉々する。此際格別に下痢嘔吐等の胃腸症狀がなく、灌腸を試みる時は反て良便を出すことがある。斯様な場合にも疫痢を非定する理には行かぬ、何故ならば此良便は腸が病變を呈せざる以前

からの宿便であるからである。尙時間を経過して數回の灌腸を試みたならば、必ず粘液を混ざる疫痢に定型的の糞便を見るであらう。

疫痢の場合にも單純な急性胃腸加答兒の様な劇烈な胃腸症状を以て初まるものもある。小兒は突然發熱すると同時に腹痛を訴へ嘔吐下痢を發する然し眞性の疫痢ならば此胃腸症状の他に必ず前に述べた神經症状(腦症状が)が伴なうものである。

以上の腦症状及び胃腸症状は同時に來ることあり、或は又前後して發現することあり、且其輕重の程度にも差異はあるが、何れの場合にも元氣よき健康なる小兒に突然發現することが特徴である。

(二) 中毒症状

中毒症状は腸内で發生した毒素が體內に吸収されて起る現象で、腦と心臟の症状である。

腦の侵された爲に起る症状は弛緩性痲痺と刺戟

性痲痺の二種である。弛緩性痲痺の輕度なるは無氣力・倦怠・意識鈍麻・嗜眠の程度に止まれ共、高度の場合には意識濁濁、昏睡に陥る者あり、體驅の筋肉は緊張の度を減じて弛緩し、殊に腹壁筋肉・腸管等も弛緩する結果、腹部は軟弱となり、觸れると綿を摺む感がする、これも疫痢の特徴とされて居る。刺戟性痲痺の場合は之と反對に四肢筋肉は緊張してかへつて強剛となり、腱反射は亢進し手指等に振顫があり、遂に四肢全身に痲痺を起すに至るのである。痲痺は數分より長きは數時間に亘り反復することが多い。

心臟は發病當初より既に多少侵されるが、重症の疫痢では數時間に痲痺の危險に瀕するものである。一般に高熱に拘らず小兒は顔面が蒼白色となり、口唇や手指等にチアノーゼ(紫蒼白色)が現はれ著しく冷却する。脈は微弱となり力なく弱く數も増加して一分間に百二十一—百八十位となる。

心悸亢進と云ふて心臓の動悸が非常に高まるものである。これ等は何れも心臓機能の衰弱せる症候である。

この病に於ては呼吸状態も特有で、早くはならぬが大きな深呼吸をしたり、ため息をつくことが屢ある。

(三) 糞便の性状

糞便の性状は特異である。初期の便は腐敗悪臭あり、食物殘塊を混ざる粘液便を出す、次第に粘液膿様汚穢暗綠色となり、往々にして血液を混ざることがある。但し極初期即ち發病當時は普通の良便を出すことがあり、殊に灌腸によつて排出された便が良好なる爲に、誤て疫痢を否定するところのあるのは既に述べた。此際にも小腸にある内容即ち糞便は定型的なる粘液膿様のものであることは、其後排泄する便を見ても明である。劇症になると腸管が痙攣して便通のないことがあるから

注意せなければならぬ、排便回数は一日數回より數十回のことがある。

以上は疫痢に特有な症状の内、専門的の智識がなくなるとも、又特種な檢診方法を用ゐずとも判知し得らるゝ徴候を述べたに過ぎないことを承知されたい。

疫痢の経過

病勢は病菌毒性の強弱、小兒抵抗力の如何——主として體質——及初期に於ける治療處置の適否に關するものなれ共、今其大略を述べると

輕症 輕症の疫痢は中毒症状の輕微なもので、言ひ換へれば心臓や腦の侵され方の少ない場合であつて、急性の胃腸加答兒と混同され易い。突然發病しても痙攣や昏睡に陥る危険なく、腦症も起さず、又手足が冷え口唇の色が變り脈が早く弱くなること云ふ心臓衰弱の徴候も見えない。小兒は急に元氣がなくなり、高熱を發し、ゴロ／＼横臥し

寝むがり欠伸又は溜息をつき、嘔吐や特異の下痢を起す程度に止まるのである。この際手早く適當の治療法を講ずれば、兩三日の中に熱は下り元氣出て、嘔吐が止む。粘液下痢便はなほ數日間持續するが、次第に緩快して數日乃至十數日に全治するものである。

中等症 腦症や心臟の症狀は可成り著明に現はれる。小兒は高熱と共に急に不安過敏となり、手足をビク／＼振はし軽い痙攣發作があり、又嗜眠の傾向が見える。心臟衰弱の徵候も現はれて脉搏早く微弱になり、高熱あるも反て手足冷え指先唇の色が變り、胸内の苦悶を訴へる。胃腸の症狀も可成り劇烈で嘔吐頻同時に血液を混ずることもある。下痢も十數回以上で前に述べた特有な性狀を呈する。適當な救急處置で此危険界を脱することが出来るが、處置を誤ると大事となる。經過は中々長く月餘で漸く治するものであるが、體力の充

分回復するのは二三ヶ月の後である。

重症 重症は五六歳の小兒によく見る。小兒は突然高熱と共に頭痛或は腹痛を以て臥床すると、容體が刻々惡變して劇烈な痙攣を起し、意識を失ひ、又昏睡に陥つて容易に覺醒せない。此狀態は數十分乃至數時間連續し、一時緩快しても直に再發する。同時に心臟は急激に衰弱の徵候を現はし脉搏は殆んど觸れない。斯様な重症の疫痢は腸管も痙攣して腸管の蠕動機能が喪失するが故に、毒性ある内容を排除せんとして灌腸或は洗腸を行つても目的を達することが不可能となる。斯くして心臟は刻々衰弱し、種々の強心處置も功を奏せず數時間又は一二日間にして死亡するのである。

重症の疫痢は甚だ悪性のもので、救助し得る場合は甚だ稀である。

治療法

既に述べた様に、疫痢は腸内に發生する毒素が

吸収されて脳及心臓を侵して危険なる症状を發するものであるから、毒素が心臓や脳に吸着して其機能を破壊する以前に中和無害ならしめ、且毒素を體外に排除することを企圖し、同時に毒素産生地なる腸内容を排泄せしめ、且毒物の産生を防止する。他方には脳心臓を強盛ならしむる様醫治を加ふるのである。

この所置は早ければ早き程効力多きものなるは言ふ迄もなきことであるから、疫痢の疑ある場合には猶豫なく適法の處置を講じなければならぬ。

(一) 腸内容排除

灌腸及洗腸 此目的には灌腸や洗腸を行ふので特に述ぶる必要もなからう。灌腸洗腸液は多い方がよい、二―三倍の「グリセリン」二〇―三〇グラムを以て灌腸し、大量(數リ―テール迄)の微温湯又は生理的食鹽水を以て洗腸する。疫痢は腸の上部

なる小腸に病變のあるものなれば、洗腸して大腸を清掃するも功なしと説くものあるが、灌腸洗腸は腸内容を排除し得るに止まらず、同時に腸粘膜面に附着せる粘液膿汁を除去するに功があり、且假令小腸迄洗滌液が達せずとも、間接に腸の蠕動運動を促進して小腸の内容を下行せしむるに卓功あるを忘れてはならない。余の經驗によると、早期に腸内容排除の完全に行はれた場合は、概して豫後は良好である。

下劑 早期に多量の下劑を與へて腸内容排除に努むることが緊要である。此目的の爲に「ヒマシ油」が最も良い。一回八、〇―二〇、〇グラムを一日一―二回飲ませる。一種の臭氣の爲飲用し難き時は他の下劑甘汞等を與へる、此藥劑は他に不快なる副作用を起すことがあるから、其分量は症状に應じて醫師の指示に従ふが良い、他の多くの緩下劑は此際にはあまり功がない。

(二) 吸収されたる毒物に對する處置

此處置は體内の毒素を稀釋し尿利を促がして體排泄を助け、又毒素を中和するを目的とするのであるが、醫師の特別處置に屬して家庭で行ひ得るものがない。醫師は症狀に應じて生理的食鹽水又は「リンゲル」氏液の皮下注射を行ひ、又葡萄糖液や多價赤痢血清を注射する。即ち生理的に血液や淋巴液等の體液と同様な生理的食鹽水又は「リンゲル」液の多量(二五〇—三〇〇グラム)を皮下に注入して、毒素を稀釋ならしむると同時に、強心作用を營ましめる。葡萄糖液は解毒・強心・利尿作用を有するから近時賞用される。

免疫血清は其含有する免疫體と血清蛋白とが二様の治療的効果を有するものである。免疫體は直接毒素を中和し、血清蛋白は臓器細胞を刺戟して其機能を亢進せしめ、病毒に對抗する力を増加するのである。疫痢の場合何故に赤痢多價血清を使用するかと云ふに、曩に述べた如く疫痢菌は赤痢菌の一種或は類似の細菌なるが故に、其毒素の性状も共通の點ありと云ふ理に基くのである。

(三) 食 餌

毒素を含める腸内容が尙殘留し、腸管内に毒素產生作用尙強盛なる際に、食餌を與ふるは毒素の原料を供給するに等しいのであるから、中毒作用が緩和されて腸内容が大體排除さるゝ迄、一時絶食して食餌を與へざる方がよい。但し其間適當の水分(番茶煎汁水等)を少量づゝ與へる。

斷食療法の後には腸内にて醗酵し難き食餌の少量を與へる、含水炭素を主とする食餌がよい。重湯・葛湯「ミルクフード」等が賞用される、果物汁もよい。一般には少量を與へ、次第に分量と濃さを増すのである。此加減は病狀によつて特に注意を拂ふ必要があるから、醫師の指示ほ俟つ可きものである。固形物を與ふるのは粘液膿様の便の消失した後である、只あまり食餌に過敏に過ぎ、長時間少量の流動物のみ與へて羸度衰弱を増すことは注意せねばならぬ。

× × ×

以上は家庭で實行し得る治療法の大略と疾病看護に當つて知つて置く可きことの大體を述べたに過ぎぬ、實際の治療は勿論醫師に一任す可きものである。(完)

倍達幼稚園

(朝鮮馬山府)

L · Y · S 生

筆をとるに先立つて貴協會刊行雜誌幼兒の教育を通じて我が倍達幼稚園を世に紹介するの光榮と厚誼とに深く感謝致します。

我が幼稚園はその名を倍達幼稚園といひ本年五月一日に開園式を擧げた世に生れてやうやく一月餘りの歴史を持つ極く幼い可弱い幼稚園であります。我が園は若い女子の教員が四人と在園生が八十餘人此れらの人數を以つて組織して居ります。

無邪氣なる子供、それに對する氣のやさしい先生、想ふて見ただけでもその小さな社會はあそらく此の世を超越した美しい社會であるのだ。女性の優れた母性愛と天真爛漫たる子供の純潔さを味

はんと欲するならば須らく幼稚園に參れといひたい。

筆者は此の園の經營に間接的協賛はしてゐるが直接には何等關係を持たない第三者であるのだ、筆者は毎日此の園を訪れる、今や可愛い子供らといと愚鈍な筆者との間には或るいふにいはれない切るに切られない強い心靈の力がつながれてゐるのらしい。筆者は家庭的スウィットも充分求めた社會的親しみをも求めた。學校生活の樂しさをも味ふた、しかし何れにしよう、それらは皆競争の舞臺であり生存の混濁に過ぎなかつたのである。しかし此れらの皆てを通り越して一度び幼稚園を訪れて見よう、必ずや吾人は眞實なる人間と眞實

なる社會とを見出すであらう。

四人の先生の中には年を少しとつた先生が一人、本年北京中央幼稚園師範科を卒業した方が一人、助教員が二人、合せて四名の教員が總ての保育の事業を處理してゆく譯けだが、指導役に當つてゐる二人の年長教員が主なる役目をつとめてゐるのだ。

今此の二人の年長教員について少し見て感じた處を二、三述べて見ようと思ふ、二人とも眞心を以て子供に對する譯けだが各々人格の表現が異なる、少し年とつた先生は年をとつたそれだけ家庭の經驗を多く持つてゐる譯けだが經驗そのものが彼女の手腕を毒したのか、どうしても枯渇な處があるやうに感ぜられる。しかるに何等眞心が足りないといふ譯けではないがされど子供らは彼女に親しみを持つことが薄い、彼女の眞の人格がそれだけ劣つてゐる譯けだかは知らないが、しかし師

範科を出た先生彼女は勿論性格に於いても子供らしい無邪氣さもあるが教へる技能に於いても確に優れてゐる點が多い、結局人間的弱い感情作用より離れて眞心を以つて天真爛漫たる子供達に對するからである譯けだ。經驗を持たぬもそれだけ彼の女の心の表現が純潔であるのかも知らないが子供らはすぐ彼の女はなつてゆくのであつた。

思ふに今より十年前に逆のぼつて筆者にも斯くの如き日があつたのだ、小學時代に筆者の幼き時代を導いて下さつた〇といふ若い氣持のいい先生に對する敬慕の念は早や十ヶ年といふ長い過去をもつてゐる今日に於いても毫も薄らげてゐないのだ、それにまして彼の女對子供への愛の連鎖は私と〇先生とのそれに接觸せしめて私の〇先生を慕仰する念は益々深い、彼女の年齢といひ容姿といひ言語動作といひ〇先生をつくりであるのだ、殊に容姿に於いて、しかし彼の女の外的表現が筆者を

してO先生をしのばせるにあづかつて力あつたから筆者をして彼の女を敬仰するの念を深からしめたのではない、實際彼の女は眞實を以つて子供らに對するからであるのだ。

優雅なるオルガンの者に導かれて子供達が無我の境に於いて踊つてゐるのを見たとき我々はさながら天國の樂園に彷徨するの感がする。子供の前には總ての人間の權威をすてなければならぬ。眞裸なる眞人間になつて子供に伴侶たらなければならぬ。而して子供は大なる懷疑家であるのだ、大なる哲學者であるのだ、一つの疑問を持たばそれから質疑の言葉は連發する、而してややこしい理窟の答では承知しない、時々奇想天外の質問を發する。

第一教員なるものは虚言をいふてはいけない、子供らは彼れらが一番信頼する彼れらの先生の言葉は悉く眞實だと信ずるからであるのだ。

此ちらの幼稚園の設備それも勿論創立早々のこととて乾燥した貧弱なる設備であるのだ、第一建築物それから美的設備は勿論のこと保育設備までがそうであるのだ、遊戯室だつて廣い荒組の床板の上に小さなオルガンが一脚置いてあるだけで勿論保育室だつてそれも一基の破れがかつた黒板に教卓、眞黒い机と荒板組みの椅子が數脚並べられてあるのみだ、それ運動場も狭い、遊び道具だつて二ヶのバスケットボールと一基の滑り臺と若干のおもちやを持つのみ、しかし此れだけの設備でもそれを組立するには少なからぬ努力と義捐とが入つた譯けだ、出來得ることならば立派な設備もしてあげたい子供らをして快活に遊ばせたい、美的情緒をも養はしめたい、しかし今の處此れはまづ法外な望みだ、どうしても一般社會の文化の程度はそれを理解し自發的に子供の爲めに盡すといふほどまで進んでゐない、子供を幼稚園にやるのも大

概は子供が家にゐてはうるさいからといふ利己的
觀念からであるらしい、要するに燦然たる文化も

斯くの如き微弱なる出發點から初まる譯けだ、大
衆がやうやく目ざめ初める此の期が一番大なる機
轉を試みなければならぬ眞劍的眞際である譯け
だ、筆者はかくの如き機轉期に於いて不設備の幼
稚園に於いてかくの如き立派な先生を見付けたこ
とを喜ぶ、先生の苗字は確かに朴といふてゐた、
お名は知らない、私は彼の女の民籍上の名稱は知
らない、けれども立派な名として共通の名稱とし
て筆者が彼の女に奉つた名前としてそれは確かに
知つてゐる、その名前は『總ての子供の母』といふ
名前である、勿論母といふ言葉の意味も普通人倫
道徳上にかぎられた固有名稱の意味とは違ふので
ある、筆者が意味した母といふ言葉の意義は『皆
ての子供を母性愛に依つて生かす』といふ意義に
解釋したい、それ彼の女の尊い性格の表現は子供

らに深い親しみを與へると共に傍觀者をして心か
らの感服を餘儀なくせしめるからであるのだ。

人は眞實に生きるよりより尊いものはなく眞實
に信頼するよりより頼もしい強い力はない筈であ
る、我が園の園兒達は蓋無邪氣なる内的氣分を
充分に表現しない、ややもすれば陰鬱に沈み勝ち
であり常に引き込み思案が多いやうに見受けられ
る、殊に女の子に於いてそうである、内に欲する
ところを赤裸々に表すことを避けてゐる、避けて
ゐるのではない硬くなつて縮つてしまふのである
それは無理ではない筈だ、子供達の一人一人の家
庭を訪問したならばすぐわかることだ、一言で斷
言すれば彼れらの家庭は餘りに專制的に消極的に
彼れらを導くからであるのだ、勿論彼れらの家庭
組織も第一數へきれぬほどの缺陷を持つてゐるが
彼れらの父兄は子供に對する知識を持つてゐない
からであるのだ、考ふれば彼れらの父兄彼れらは

より暗いより硬い子供時代を過して來たのだ、それが傳統的暴威を以つて彼れらの子供の身の上に襲つて來たからであるのだ、而して彼れらはその傳統的暗黒を打破するだけの知織と刺戟とをもつてゐないのだ、それは確に傳統的暴威と社會組織の缺陷とに依る無知の罪であるのだ、しかし吾々も一度穿鑿の槌を振つて深入りをしたならば以上に擧げた理由は極く單純な微力なる原因に過ぎないのだ。此れよりより大きい痛しい理由がひそんでゐるのだ。『悲痛なる運命に置かれたるものは常に陰鬱に沈まざるを得ない』といふことが。

幼稚園の位置それも餘り感心は出來ぬが喧々たる市中よりは遙かによしとする處がある、しかし數多い世の誘惑物が園舎をとりまいてゐるのだ、佛を欺く佛堂、筵卜の巢窟、假面の文化住宅、遊食群れの集會所、此れらの恐ろしい誘惑と無知とが園舎をとりまいてゐるのだ、されど前方遙かに

浩々た馬山灣の遠景を控かへ背後奇巖峭立せる名高き舞鶴山を背負ひて巍然と屹立せる我が園舎は泰山の如く磐石の如く四圍の誘惑をよそめにみながら數多の未來の偉人達をかばふてゐるのだ。

悲痛なる環境に於いて傳統的暴威の爲めに縮迫された子供固有の快活さも天真爛漫たる意氣もやさしい先生の指導に依つて貧しいかざりげのない學園の明るさに依つて益々啓發せられてゆくのである、可愛いものよ爾の名は子供なり、尊いものよ爾の名は母性愛なり、偉大なるものよ爾の名は倍運幼稚園なり、導かるるもの、教ふるもの、守るもの願くば永へに幸なれ。

童話

水谷年恵

五四

○太郎山の兎

十五夜のまん圓いお月様が太郎山の上に出ました。太郎山の兎達は大喜びで、山のてつぺんへ集りました。大勢の兎達が聲を揃へてお月様に、

「十五夜お月様、今晚は。」

と申し上げると、十五夜のお月様はにこ〜して、

「太郎山の兎さん達、今晚は。」

とおつしやいました。

太郎山の兎達は白い手拭で鉢巻して、お手々を繋いで大きな輪を作りました。これから兎の踊が始めるのです。すると、十五夜お月様の中の兎が、

赤い手拭で鉢巻して、

「えんやらほい、ぺつたんこ。」

とお餅を搗き出しました。それに合せて、太郎山の兎達が、

「えつさつさ、こらさのせ。」

踊り出しました。お月様の中では兎の餅搗、

「えんやらほい、ぺつたんこ。」

太郎山では兎の踊、

「えつさつさ、こらさのせ。」

餅搗と踊と、拍子を合せて、

「えんやらほい、ぺつたんこ。」

「えつさつさ、こらさのせ。」

と大變な賑ひです。

太郎山の麓には澤山の狸が住んでゐました。狸

達はあまり賑かなので、浮かれ出して穴の外へ出て見ました。すると、十五夜お月様の中の兎と、太郎山の兎とが、調子を揃へて、

「えんやらほい、ぺつたんこ。」

「まつさつさ、こらさのせ。」

と面白い騒ぎをしてゐます。

さあ、狸達もたまらなくなりました。山の麓に並んで、大きな腹を山の方へ向けて、

「あつぼんぼん、おつぼこぼん。」

と腹鼓を打ち出しました。

月の中では兎の餅搗、

「えんやらほい、ぺつたんこ。」

山の上では兎の踊、

「まつさつさ、こらさのせ。」

麓では狸の腹鼓、

「あつぼんぼん、おつぼこぼん。」

夜中になると、お月様の中の兎の餅が、いゝ鹽

梅に搗けました。それで、太郎山の兎達も腰を下して休みました。麓の狸達も腹鼓を止めて休みました。

やがて、月の世界からお月様のお使の子供が二人下りて来ました。おいしいお餅を積み上げたお三方を持つて、一人は山の上の兎達の所へ、もう一人は麓の狸達の所へ来ました。山の兎達と、麓の狸達は、いたゞいたお餅を仲よく分けて、うまい〜と言つて食べました。食べてしまつてから兎も狸も聲を揃へて、

「十五夜お月様、御馳走さん。」

と言つたら夜が明けました。

○赤玉と白玉

三郎さんが外で遊んでゐると、ぶらりと、天から綱が下つて来ました。三郎さんは、

「あやあや、天から綱が下つて来た。一つぶら下

つて見よう。」

と言つて、其の綱の先へぶら下りました。すると其の綱がする／＼と上り出しました。三郎さんがこれは大變だと思つて居る中に、もう屋根の上の方まで上つてしまひました。手を放したら下へ落ちて、怪我をします。三郎さんは綱の先をしつかり握つてゐました。綱はする／＼、する／＼と、何處迄も／＼、上つて行きます。

下の方を見ると、家はマツチの箱位に見え、川は細い紐の様に見えます。高い／＼山も、もう下の方にお釜を伏せた様に見えました。其の中に三郎さんは雲の中へ這入つてしまひました。上も下も、右も左も、雲ばかりで、何一つ見る事は出来ません。綱は相變らず、する／＼と上つて行きます。雲の中から出ると、上は青天井で、太陽が大層綺麗に輝いてゐました。下の方は一面の雲の海で、もう下界の物は一つも見られませんでした。

「此の綱は何處迄上るのだらう。誰がひつぱり上げるのだらう。」

と三郎さんは不思議がつて居りました。

其の中に、三郎さんは空中に生えてゐる一本の樹の枝にひつかゝりました。三郎さんが綱を放して、樹の枝につかまると、綱だけがする／＼と上つて行つてしまひました。三郎さんはお腹がぺこ／＼になつてゐました。見ると、其の樹には赤いうまさうな實がなつてゐました。三郎さんは其の赤い實を一つちぎつて食べました。食べるとお腹がふくれて、何時の間にか眠つてしまひました。眼が覺めて見ると、三郎さんは赤い鳥になつてゐました。三郎さんはびつくりしてしまひましたけれども羽ばたきすると、空を飛ぶ事が出来るので喜んで飛び廻りました。

其の中に三郎さんはうちへ歸りたくありません。赤い鳥になつた三郎さんは、高い／＼空の上

から、下の方へ、下の方へと、矢の様に飛んで來ました。釜を伏せた様な山が見え出しました。紐の様な川が見え、マツチ箱位の家も見えました。

「あれが僕のうちだ。」

赤い鳥の三郎さんは自分のうちを目あてにして一息に飛び下り、うちの中へすーつと飛び込みました。うちの中ではお父さんが、

「やあ、赤い鳥が這入つて來たよ。綺麗な鳥だ。」とおつしやいました。すると、お母さんが、

「まあ、可愛い鳥ですね、三郎がゐたらどんなにか喜ぶでせうにねえ。」

と言つて、悲しさを顔をなさいました。

赤い鳥の三郎さんは、

「お母さん、三郎です。僕は三郎ですよ。」

と言つて、お母さんのお膝の上に乗りました。けれども、お母さんには鳥の言葉はわかりません。

「あゝあゝ、私の膝の上へ乗つて來ました。何て

人なつつこい鳥でせう。」

と言つて、お母さんは羽を撫でて下さいました。

お父さんとお母さんは、其の赤い鳥が三郎である事は御存知ありませんでした。けれども自分達の子供のやうに可愛がつて下さいました。赤い鳥の三郎さんは、外を飛び廻つたり、うちの中を歩き廻つたりしてゐました。

或晩うちへ泥棒が這つて來ました。お父さんもお母さんも、赤い鳥の三郎さんも、ぐつすり寝込んで何も知りませんでした。其の中に泥棒は大切な寶物の白い玉を盗んで行つてしまひました。

朝になつて、お父さんもお母さんも、寶物の無くなつた事を大變お悲しみになりました。赤い鳥の三郎さんは、寶物の白い玉を取り返さうと決心して、うちを飛び出しました。

赤い鳥の三郎さんは山奥の方へ飛んで行きました。すると、大きな洞穴がありました。其の洞穴

の一番奥まで這入て行くと、其處に水晶の様な水の湧き出る井がありました。赤い鳥の三郎さんは咽喉が渴いてゐたので、其の水を一口飲みました。すると、お腹の中から赤い玉が一つころがり出て忽ち魚になつてしまひました。

魚になつた三郎さんはぼんと一つ跳ねて井の水の中へ這入りました。清い水の底まで洗んで見ると、搜してゐた寶物の白い玉が有りました。魚の三郎さんは大喜びで、其の白い玉をばくりと飲んでしまひました。それから、水面に浮んで、又ぼんと一つ跳ねて井の外へ飛び出しました。丁度其の時、泥棒が歸つて來ました。

「ははあ、此の井の水を飲んで魚になつたな、甘さうな魚だ、焼いて食つてしまはう。」

と言つて、魚の口を兩手で引裂きました。すると腹の中から白い玉がころがり出て、魚は忽ち人間の三郎さんになつてしまひました。三郎さんは、

「此の泥棒め、よくもうちの寶物を盗んだな。」

と言つて、泥棒の兩手を縛つてしまひました。泥棒はこれは大變だと思つて逃げ出す拍子に井へ落ちてしまひました。あつぶ／＼と洗んで行く中に水を飲んだものですから、泥棒は忽ち魚になつてしまひました。

三郎さんは井の側にころがつてゐる赤い玉と、白い玉とを拾ひ上げて、

「やあ、うちの寶物が二つになつた。」

と言つて喜んでおうちへ歸つて來ました。お父さんとお母さんは、

「三郎が歸つた、三郎が歸つた。」

と言つて、雀踊をして喜びになりました。

みのり子供園の沿革

設立者

大正九年の四月、余は今宮の細民部落を視察せ

の事は晝間或る工場に通ひ働き居る留守中に他の

んと、今宮住吉街道を通りしに見奪しき五歳位の兒童が八百屋の店に見張の居らざるを見て鶏卵三個を盗み馳せ去るをみたり余は窃に其の後をつけて行くに十六七の青年に其の卵を渡し、其の青年より盗み賃として一個を貰ひ居れり、余は尙彼等の後をつれて行くに遂に木賃宿橋屋に入りたり、余も亦橋屋に入り種々聞合たるに彼の卵を盗みたる兒童は父もなく母のみにて其



みのり子供園設立者と幼兒

青年が誘ひ出し盗ませたる事を知りたり。

此の釜ヶ崎は大阪市のどん底生活者の集まれる處實に不潔極まる處なり余は此等の不健全な兒童の狀態を見るに忍びず、たとひ一人でも此の惠まれざる兒童の同情者とならんものと遂にみのり子供園」を設立する事となれり。

五月の初現在の所に（釜ヶ崎を西へ四町余）土地三百六十五

坪を求め、更に府官舎二棟の拂下げを得移轉して今日に及べり。

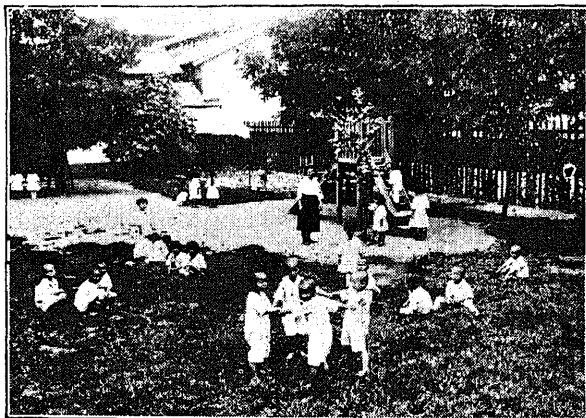
以來現今に至るまで終了生を出せること六十四名收容者は貧困なる人の兒童三十名を收容する事とせり。

保育料は一切無料にて、夏冬洋服をも與へ居れり。

入園願書は今官警察署に差出させ、小寺正吉と云ふ警部が家庭をよく調べた上入園を許す事とせり。

現今の保姆は久松稔子にて元道仁小學の訓導たりし人なり。

他に醫師今泉正吉―此人は余が尋常四學年の時より養育せし青年にて、京都帝大出の者にて目下市民病院の小兒科に勤務せり。



みりの園は設備は不完全なれど三百坪の庭園に鬱蒼たる「アカシヤ」の下にて園兒は皆喜び遊び暮

みりの園は設備は不完全なれど三百坪の庭園に鬱蒼たる「アカシヤ」の下にて園兒は皆喜び遊び暮

せり、余個人の資金にて經營せる事故目下は園舎を建たり他の設備を完ふする能はざれど、財界がよく成らば追々完成する筈なり。

おことはり

甚だ失禮でありますが設立者の御姓名を失念いたしましたのであります。お序のとき御知らせ下さることを願上げます。

(堀生)

影 法 師

土 川 五 郎 振

1 …… 左後ろの影を見つゝ圓心に左肩圓の外方へ
右肩即ち右向をなして四歩進む。

6 …… 兩手を前より頭上にあげつゝ小さき摺足に
て前へ走り、

2 …… こまかき摺足にて急速に矢張り後ろを見つゝ
ゝ走る。第三音にて後ろ向き(影に向ふ)第

全身を出来るだけ高くす、終りに最も小さ
く縮みて影を寫す。

四音にて一寸小さくなつて影を見つめる。

7 …… 小さくかじみつゝ右向にて後ろ影を見つゝ

3 …… 又後ろに影を見つゝ(2)の如く走りて影に向

走り又影の方を向く。

(以後ろ向き)兩肱を張る。

8 9 …… 左足高くあげて一步跳び、次に右足次に

4 …… 前二節にて左足一步前(影に向ひ影を寫す)

左右を跳び影を踏む(四歩)

兩拳を肩に後二節にて右足一步前兩拳を左

10 11 12 …… 右向になりそり身に大きく手を振りつ

右に開く。

ゝ行進し最後に「ボカン」と右上を見て止ま

5 …… (4)と同じくして始めに兩拳を頭上に次に兩
拳を後方に影を寫して見る。

る。

影法師

Allegro Staccato.

Musical notation for measures 1-3. The piece is in 4/4 time with a key signature of two sharps (F# and C#). Measure 1 features a piano introduction with the instruction *lightly*. Measures 2 and 3 contain staccato chords and eighth-note patterns. Measure 3 includes a first ending bracket.

Musical notation for measures 4-6. Measure 4 has an accent (^) over the first note. Measure 5 has accents (^) over the first and third notes. Measure 6 is marked *8va* and *broad big ff*, featuring a rapid sixteenth-note run in the right hand.

Musical notation for measures 7-9. Measure 7 has an accent (^) and is marked *lightly l.h. pp*. Measure 8 has an accent (^) and is marked *heavy ff*. Measure 9 has accents (^) and is marked *f f*.

Musical notation for measures 10-12. Measure 10 is marked *very dignified rit.*. Measures 11 and 12 continue the staccato accompaniment.

恐るべき皮膚病

醫學博士 眞 家 眞

愛國婦人八月號に醫學博士眞家眞氏のをせてゐるところであります。幼稚園などに於て特に注意すべきことがありますから茲に抄録いたします。

皮膚病を輕視するな

昔は俗に四百四病と云つて、人間の病氣は全部でそれだけの種類しかない様に思つて居た様ですが、決して私達の身體に起る病氣はそんな僅かな數でなく、單に皮膚だけの病氣でもそれに近い數だけの種類があります。殊に一般の人達は皮膚病と云ふと直ぐ『クサ』とか『タムシ』とかを考へて、そんなもの許りが皮膚病であつて、兎角くにこの種の病氣を輕視して、良い加減の治療で濟ませせようとする傾きがあります。然し乍ら皮膚病の中には甚だ重大なものや、未だに原因の不明のもの、

病名の不明のものが澤山あつて、中には生命に關係するやうなものも多いのです。例へば癌腫、肉腫、丹毒、ちよう等は矢張り皮膚病の一種て是等の病氣の恐る可きものである事は既に御存知だらうと思ひます。又中には麻疹のやうに皮膚の表に異常が現はれて來るために内臓が病氣である事が發見されるものもあり、或は一生涯遂ひに癒り切らない慢性濕疹、皮膚結核、癩病等のやうな執拗なものもあります。その他年齢や氣候風土の關係のあるもの等もあつて、麻疹や水痘等は子供にのみ見られる病氣で青年期に這入ると殆ど影を潜め

て了ひますが、その代り『ニキビ』等の病氣が出て來て青春期の男女を惱まします。『ガンガサ』とか皮膚癬のやうなものは老人が主で、若い人達には見られない疾患です。

風土病としては『フランベチア』と云ふのが最も代表的に有名なものでこの病氣は主に熱帶地方に流行し、見た所梅毒によく似て居るので知られて居ます。之れに反して外國には影を見ないが日本には到る所で見受けられるやうな病氣もあります。が、かう云ふ限られた地域内にしかない特殊な病氣は、外界の氣溫の關係で現はれて來るものでその他季節とは切つても切れない深い絆で結ばれて居るやうな病氣もあります。其處で私は此頃の様
に暑氣が關係して皮膚が犯されるやうな病氣の主要なものを簡單に述べて、その注意とどうしたら治療できるかに就いてお話ししたいと思います。

皮膚の構造

然しその前の順序として、私達の身體を包んで居る皮膚とはどんなものであるか、また是れがどんな働きをするかを、極めて簡單に云ひますと、私達の身體は骨格を柱として、是れに肉を添へその外側を包んで居る袋のやうなものが即ち皮膚であります。その構造は眼に見た程單純なものはなく、仲々複雑に出來て居りますが、大別すると表皮、真皮、皮下組織の三つから出來上つて居ります。そして之れに血管とか淋巴管とか神經、汗や油の出る汗腺、皮脂腺、又は毛髪とか爪、色素等が加はつて居て、外界の種々な刺激に依つてそれに適應した影響を被つたり、雑多な官能を働かせたりするのです。言葉を代へて云へば知覺作用の外、呼吸とか吸収、分泌によつて身體の新陳代謝を補けまた暑さ寒さを調節する機械となつて外に對して内を護る保護の用を務めて居るので

季節が關係して起る皮膚病にも種々原因があつて夏なども單に暑さだけで起ると云ふのでなく、其處には必ず身體の何んかと結び付いて起るのであつて、例へて云へば皮膚の分泌や排泄が暑さのために異状を起して發患するもの、または微菌の寄生に依るもの、日光光線の刺戟が強すぎたため皮膚が犯かされるもの等、それによつてもつて來る所の原因は違つて居りますから、此處でも原因のそれによつて大別して行く事にします。

ソバカスも皮膚病

先づ第一としては日光光線の刺戟によつて來るものから云へば、夏期には特に日光過敏症と云つて直ぐ皮膚に炎症を起す素質の人が居ります。その他では日焼け(夏日班)ソバカス(雀卵班)シミ(肝班)等で、以上の皮膚病は顔を犯される夏の皮膚病の内、最も廣く知られて居るものです。元來太陽の光線の中には紫外線と云つて人體に餘り良

い影響を與へない光線があります。て皮膚の方でも色素がその光線を吸収して、その害を自分一人で防がうとするのですが、餘り光線が強すぎたり永く日に曝らされて居ると自然と色素の出方も増加して來るので、その色素のために皮膚の色が黒くなつて來るのです。てかうした事に依つて黒くなつたものを日焼けとかシミとか云ふのですが、ソバカスはこの現象の一層烈しくなつた場合に起るので。て是等のものを豫防するには、成可く日光に直面しない事が肝心で、若し外出の際とか海水浴をやる場合には、化粧用の日やけ除け塗布料を使ふのが良いのです。また皮膚が荒れる位のものならばベツ水液で結構です。

第二に皮膚の分泌、排泄、吸収の異様に依つて起つて來るものに濕疹、皮脂漏、座瘡面皰(ニキビ)、多汗症等があります。

濕疹 汗の分泌が激しいためその刺戟で起る

ものであつて頸筋とか、腋窩、股間のやうな、汗を餘計にかく所または摩擦する所に出來ます。輕い場合ならば天花粉、硼酸末、亞鉛華澱粉、汗知らずの様な撒布劑を、充分患部の汗を拭ひ取つた後に、振りかけて置けば癒りますが、重いものは石鹼や刺戟の強い藥を使はないやうにして、先づ水で汗を拭き取つた後、亞鉛華とオレフ油の等分のもの塗つた上、前に述べた撒布劑をつけて置けば治ります。尙ほかう云ふ際には始終、汗や脂肪を取り去るやうに心掛けて、皮膚を清潔にする事が最も肝心で、殊に子供の頭や顔や頬に出來ると痒ゆいために癢さむしつて餘計に悪くして了ふやうな事がありますから、其處も氣を付けねばなりません。此の皮膚病は皮膚の疾患中一番數も多く、また慢性にもなり易いもので若し慢性にてもならうものなら十數年も毎年これに苦しめられるやうな事があります。で慢性の療法としては又光

線を用ひる場合がありますが、一般の場合はその急性期が終つたならばピチロール、チオール、イヒチオール等の軟膏を塗布すればよろしいのです。皮脂漏 鳥渡も身に覺えがないのに眉毛や頭部の毛が氣味が悪い程抜ける事がよくあります。そして梅毒の遺傳があるのではないだらうか又は禿頭病に犯されたのではないかと心配する人がありますが、之れは夏期、皮膚面に脂肪の分泌が高まつて來るのが原因で、かう云ふのを皮脂漏と云ふのです一體毛髮は健康な人でも毎日十本乃至二十本は抜けるものでして決して病的な現象ではないのです。で少しでも目立つて脱毛するやうな人は成可く脂肪分の強い食物を採らないやうにする事と、アルコール性の飲料を嗜なまない事で、脂漏の手當てとしては、毛の生えて居る部分には五〇パーセントのレブルチンアルコール、皮膚にはベアルツ氏液などを用ひれば良いのです。

座瘡面皰(ニキビ) 思春期になると身體の活動が一時に激劇として來るので皮脂線の機能も盛んになり、従つて分泌物條も濃厚になります。殊に春から夏にかけては一層激しくなつて來るものでこの分泌物が顔面や背部に重なつて溜つたものがニキビです。これは始めは極く小粒な腫物ですが觸つたり癢いたりして刺戟を與へると、炎症を起すやうになつて、膿を持つたり悪性のものになると治つた後にも見苦し跡を残すやうになります。で療法としては皮膚面に強い刺戟を與へないやうにするために、石鹼は時々使ふやうにして水で汗や脂漏を除く事を心掛ける事が第一で、晝間はベ ルツ水、就床の際はイヒチオールの軟膏を塗るやうにするのです。尙ほ最初、小粒のものが小々出來た位のものならばピツクを貼つて置けば容易に治ります。全體ニキビの多く出る人の體質は脂肪質の人ですから、脂肪分は澤山攝取しない様にす

ると同時に、便通にも氣を配り若し通じのないやうな時は『チオノール』丸等を用ひて、通じをつけるやうにする事です。

多汗症 この病氣は貧血症とか神經衰弱症の人に一番多く、手掌や足蹠を始終汗でびく／＼させて居て、甚だしい人になると不快な臭氣を發するのさへあります。で比較的輕症な人々は滑石末に『ダンノホルム』を十バアセントの割合に交ぜた粉末劑で結構治りますがやゝ程度の進んで居る患者には患部をホルマリン石鹼で洗つた後、五若しくは十バアセントのフォルマリンアルコール液を塗布すれば良いのです。この種の皮膚には、小さな手袋や、窮窟な靴などを平常履いて居る事が一番不可なく、また靴を日常履く人は靴下が汗に滲んで居たり汚れて居たりするのを除けて、出來るだけ毎日洗濯したものを引換へ取換へ履くやうにし又、靴下の中には撒布劑を入れて置く事、常に手

洗を温湯とする事等は心得べき事です。

次ぎに腋窩に腋臭のある人は、殊に夏を注意しないとい層臭味が募つて来るもので、是れを防ぐためには腋窩の空氣の流通を計るやうにしてホルマリン石鹼を始め、水薬、撒布薬を絶やさないうにしなければなりません。尙ほ近來ではX光線で治療する事が流行して、相當な効果を揚げて居ります。

第三に黴菌に依つて發生する種類に就いて云へば、この内で最も普通のものが癬腫・腫物（ハレモノ）です。

癬腫、腫物 この皮膚病の出來始めのときは成可く刺戟を與へないやうにしてピツクを貼つて置けば、一兩日の内にはその尖端に孔が開いて膿が出て來ますから、それに硼酸軟膏を貼れば困難なく治つて了ひます。所がそれをしないで手で觸れ廻したりしますと、腫口が次第に膨らんで來ると

同時に痛みさへ加はつて來て、醫者の手を貸りなければ始末がつかなくなりませす。尙それだけならば未だ良いのですが惡症なものです。淋巴腺が腫れて來たり膿を持つたりして、手術を待たなければならなくなる場合があります。特に注意を必要とするのは之れが顔等に出來た時で、若し熱が高かつたりすると腦を犯かされる危険があるので。俗に云ふ『出もの腫れもの所嫌はず』でこの種のものとは身體中、所嫌はずに出來ますが、夏等は腋窩とか股間に一番多いのです。又子供には『夏ぶし』と云つて澤山にこの腫物が出來るのを見ますが、さう云ふときは素人考へて一概に毒を出す事等はしないで、醫者に見せた方が良いと思ひます。

膿疱疹（デキモノ） 主な子供の皮膚病で、始めは水泡が出來それが腫を持ち續いて痂皮が生じるやうになるもので、數日の裡にどしどしと數が増

へて行きます。之れは葡萄狀球菌が皮膚に浸入して起るもので、手當は出来るだけ急いでしないと終には手の付けやうもない迄に増へて了ひます。

で始めの頃ならば○・ニバアセントのリゾール水で洗つて痂皮のあるものには一日位硼酸軟膏をつけて置くやうにし、痂皮が取れたら五バアセントのピチロール軟膏かニバアセントのイヒチオール軟膏を塗つて繃帶をして置くのです。

水痘 素人見には前の皮膚病と良く似て居りまして、殊に子供に主に發患する事、蔓延の早い事など、兩方を同じ種類のものだと考へて居る人も少くない様です。この病氣は傳波力の烈しいもので近所の子供にそれが出来たなと思つて居る裡に直ぐ我が家の子にそれが感染つて居ると云ふ様に實に始末のならないものですから、治療は直ちにやる事が肝心で體質の虚弱な子供は特に癒りが悪いものですから、充分の手當を必要とします。そ

の方法としては○、ニバアセント位のリゾール水をガーゼに浸して發疹部を洗ひ清めた上、水疱をピンセットで刺し破つて腫なり水なりを取り去つてから、イヒチオール又はピチロール軟膏を塗つてその上に更らに亞鉛華澱粉を振り撒いて置くのです。そして下着等は薄いものを着せるやうにしてそれも毎日取換へてやるのです。手當さへ良ければ蔓延力の早い割に、治るのは比較的早く、二三日で全治するものです。

同じ黴菌によつて發生するものでも、少し種類の異つた『カビ』の菌によつて皮膚病を引起す種類のものも極く簡易にお話します。之れは皮膚の表面に菌が附着して繁殖するもので容易に治るものもあります。中には仲々頑強なものもあります。

水虫(汗疱疹) この病氣は冬には殆ど姿を隠して居りますが、夏になると足の趾間や足蹠等に出て来て臭味を發するものです。また夏出来て居

たものが涼しくなると影を潜めて翌年再び發生するやうな事もあります。治療法としては常に患部を消毒液で洗ふ事、靴下等も汗のないものを常に履くやうにする事が第一です。

白癬 この皮膚病は頭に出來た場合を『シラクモ』と云ひ顔に出來た場合を『ハタケ』と云つて居りますが、之れには『ミチガール』を一日二回患部に塗るか、又はウンナ氏の亞鉛華黃硫軟膏を用ひれば良いのです。

紅色陰癬(エリトラスマ) 股間等の摩擦し易い所に紅い痣のやうなものが出來る皮膚病ですが容易に全快するものです。薬としては『ケリザロビン、ミピチロール』を加へた軟膏を一日に一回宛塗るやうにすれば三四日の内には、その痣點も消へて了ひます。

頑癬(ゼニダムシ) 之れの方が本家格のタムシで皮膚に環狀の圖を描き、それが段々と周圍に擴

がつて行くのです。多くの場合は股間に出來ますが、痒ゆみがあるのでそれを癢くと菌が爪に着いて身體中に擴がつて行きます。時としては水疱を生ずる事があるものです。之れにはイリザピン、ピチール軟膏を一日に三回乃至五回塗れば良いのです。

最後に一言附け加へて置きたい事は皮膚病、に『タイドク』と云はれて居る病氣を治すと内抗するので身體が弱くなると云ふやうな事が云はれ、一般にその説を信じて居るやうですが、之れは誤解も甚だしいもので、治さないて放つて置くと却つて内抗すると云ふ風に、恰度反對の説の方が本當なのですから、若し皮膚の疾病のある時は、そのまゝにして置かないで、出來るだけ早く、出來るだけ完全に治して貰ひ度ものです。(丁)

赤い洋傘

阿 閉 生

獨逸の山地に貧しい樵夫が大勢の子供を抱へて住んで居りました。朝早くから夜遅く迄大きな木を伐り倒し町に運んで薪に賣り其の日其の日の糧を得て居ました。妻も子もボロを身に纏ひ三度の食に事を缺ぐ様な事も珍らしくはございませんでした。

或寒い雨の日の事でございました。いつもの様に子供等に留守をさせて樵夫は妻と稼ぎに出かけました。子供等が火のない爐を圍んでお化けの話をしたりマツチの棒で灰に繪をかいたり又はジャンケン遊びをしてゐる最中に倒れさうな戸を押し開けて靴音荒く一人の紳士が濡れ鼠になつて駈け込んで參りました。恐怖の念に驅られて一かたま

りになつて震へてゐる小さな子供等を親切さうな眼で眺めながら暫く雨の止むまで雨宿をさせてくれと願ひました。雨はます／＼烈しく降つて參ります。始めの程ははにかんで互の肩で顔をかくし合つてゐた子供等は紳士のやさしい態度に安心してか段々打ち融けて話をする様になりました。

「御父様も御母様も何處にゐらつしやるの」と聞かれて突然思ひついた様に一番年上の男の子が叫びました。

「父ちゃんも母ちゃんも雨にぬれてゐるだらうなああの洋傘を忘れて行つたんだ」

「洋傘があるのかい」

「エー、とても立派なの、見せてほしい？」

それ以上の洋傘を見た事のない末の女の子はさも誇らしげに大きな洋傘を抱えて來ました。見れば大きくて小さな小屋の屋根になり相てございましてた。

「ネー、きれいでせう」

「借してくれませんか」

「道遠いの」

「さうね、一時間位かゝりませう」

「じゃ、貸してあげますが明日の朝きつと〜返してよ、母様に叱られるんだもの」

「よし〜返すとも、お金もつけて」

「それあ、小父さん、嘘だらう、口ばつかりだらふ」

「何でもよいから貸して呉れ」

「破つちやいけん、家のお寶物だ、父様が怒るよ」

口々に子供等はいひました、紳士は大事にする事を誓つて煤けた洋傘をさして雨の中を出て行きま

した。

此の紳士は一體誰でございませう。かくれもなき皇帝御自身でございました。下情に通ずるため時々御微行になるのでございました。

夕方樵夫は疲れた上ずぶ濡れになつて妻と歸つて來ましたが子供等はその日の出來事について一言も話してませんでした。

次の日は前の日よりもつとひどい雨でございました。洋傘を探しましたがどうしても見つからないので樵夫は短氣にどなりました。

「オーイ、野郎ども、あの洋傘をどうしたんだい」子供等は恐る〜見知らぬ紳士に貸した事を打ち明けました。

「へー、貸した、タ…タレに貸したんだいどんな人だつたい？」

「名をお聞きする事あ、すつかり忘れてしまつちやつた」

と兄がひひますと末の女の子は

「いゝ、やさしいお方だったよ」

とつけ足しました。

「何といひ分けしたつて、あの大事な洋傘は決して己の手に歸らんから、……よいか！ これから家の物は藁繩一筋だつて己に無断で人に貸しちや承知しないぞ」

とわめき立てながら表へ荷車の支度に出様といたしますと二頭曳きの金の御紋いかめしくまばゆきまでに光つてゐる馬車が止りました。そして中から二人の士官が重さうに何か大きな赤いものを抱えて出て來ました。

「陛下の御返しものでございます子供等に『よろしく』との事でござりました」

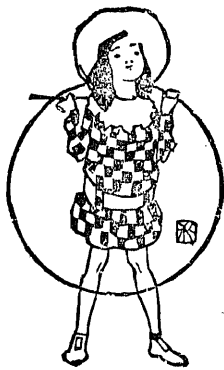
といひすて、又馬車に乗り込んで立ち去りました。

煤けた、大きな、赤い洋傘は擴げられてしかも

倒になつてその中に金貨銀貨が一杯輝いてゐます。

怒りの顔も泣き虫顔も忽ち和らぎ一同夢ではないかと疑ひ不思議な運を喜び、はては皇帝の御親切を心から感謝いたしました。

火の消え勝ちな爐も赫々と火が燃え雨の漏る屋根も葺きかへられ子供等のポロも新らしい着物に變り、破れたポロの荷車も新らしくなつて楽しく元氣に仕事にいそしむ事が出来る様になりましたが赤い洋傘の事を決して忘れず大切に家の寶として藏つて置きました。終り。



お粥の洪水

七四

阿 閉 生

昔狸のお山に憐れな少女がお母様と細々煙を立てゝゐました。お金もない上に杖とも柱とも頼むお母上様が病氣でございました。いつもの様に山霧が霽れ切らぬ中から少女は薪を拾ひに出かけました。途々今日はうまく薪が賣れるか知ら。お米が買へるかしら、お母様はどうして早く癒つて下さらないでせうと何時の間にか涙を流して居りました。ふと涙にかすんだ瞳を挙げますと穢いお婆さんが杖を曳き曳き山を登つて來ます。お婆さんは少女の顔を覗き込みながら、

「嬢ちゃん！ 何が悲しいの」と尋ねました。

「お腹が空いて堪りません」

「どうして」と聞き返しますと

「食乏で食べるものが何もございませんその上お母様が病氣で……」と後は噎り泣いてしまひました。

お婆さんは手に提げてゐた黒いお鍋を渡しました。

「御飯が欲しいならば是を竈にかけて『お鍋さんお鍋さん煮えなさい』とあつしやい。満腹になつたら『お鍋さん、お休みなさい』とあつしやい」

と言ひ終つたかと思ふ中にお婆さんの姿はもう見えなくなりました。

呆氣に取られた少女は急いで家に歸り早速お婆さんの言つた様に火をおこしてお鍋をかけ、

「お鍋さん／＼お始めなさい」といひますと果た

してお鍋はブツ／＼煮えておいしいお粥で一杯になりました。淋しいテーブルも今は賑つてお母様と二人生れて始めてお腹一杯食べる事が出来ました。

翌日少女は又お山へ薪をこさへに行きました。

お留守をしてゐるお母さんは

「あの子も腹を空かして歸つて来るから」といつて真黒い圓いお鍋を火にかけて少女のした様にいたしました。お鍋はブツ／＼煮え始め、やがておいしいお粥で一杯になりましたが何といつたらお鍋が止まるか忘れてしまひましたのでお粥はあふれて竈もお粥だらけになり床に流れては小川のように表にまでドン／＼流れ出しました。町の人には「オーイ、オーイ、お粥の洪水だ／＼と叫びながら駆けつけて忽ちの中に人山を築きましたが只騒ぐのみで誰もお鍋を止める事が出来ません。大きな騒ぎを聞きつけて息を切らして歸つて来た少女

が

「お鍋さん、お休みよ」とどなりますと煮えくり返つてゐたお鍋さんは忽ちに止まりました。が長い間町はお粥の海となり、向ふ側につくには先づお粥を食べて道を開けねばなりませんでした。

今でも粥のお山にはこの黒いお鍋があるさうでござります。

○夏季講習會狀況

一、文部省主催の講習

八月二十六日より同三十一日まで毎日午前四時間東京女子高等師範學校に於て開催せられた文部省婦講講習會は非常な盛況であつた。倉橋講師は不幸病氣のため欠席せられたが堀講師の歐米諸國に於ける保育事業の實際が七時間山形講師の幼稚園の手工が七時間、三浦、平田講師の幼兒に適用さ

れるダンス八時間があつた。講習會員は百五十名の豫定であつたのが地方廳よりの申込者多く遂に二百十餘名の多數となつた。只本講習は文部省に於て發表期日があくれたるためか正式の手續をなすことが出來ず、ために出席不能となつた方も少くない事務上に於ても手續不備で面倒の起つたものも一二あつたことは將來もあること注意すべきことである。文部省主催の申込は直接東京女子高等師範學校で取扱ふものでないから必ず地方廳を経由せられねばならずそのことが必ず官報で發表せられる注意事項の一である。

二、日本幼稚園協會主催の遊戯

東京女子高等師範學校の講習は場所が便宜で廣くので日本幼稚園協會は借用して茲に遊戯講習會を四日間開催した。

講師は土川五郎氏と戸倉ハル子女史、七月二十六日より同二十九日まで、毎日午後一時より同三

時まで、しかし講師の熱心と會員の努力によつて毎日午後五時頃までの講習。土川氏の老練なる講習は會員をして炎暑と疲勞とを忘れしめ、戸倉女史の輕快なる活動は只感嘆の聲を放たしむるのみならず手の舞ひ足の踏むところを識らず二百六十餘の會員を活動せしめた。文部省の講習に於ける三浦女史のダンスと三人三様の特色を持てる遊戯幼兒の遊戯として適當なるものを研究せる我が國に於ける三大家を集めた前後にない面白い有益な講習會であつた。(口繪参照)何れ明年も日本幼稚園協會に於て夏季講習會を開催することと思はれるが會員諸君より注文なり注意なりがあることと思はれる。この際遠慮なき御申出や要求のあることを希望する。(昭和二年八月三十一日)

死ぬる數より

生れる者が多い

昨年は百万近く増加

帝國の人口動態統計

内閣統計局で調査中であつた昨年度中の帝國內地における人口動態の調査は七月二十六日の官報を以て公表されたその概要は左の如くである。

大正十五年昭和元年日本帝國人口動態

統計概要

(一)婚姻 婚姻件數は五十萬二千八百四十七件人口に對する割合は千に付八・三一件で昨年より件數において一萬八千五百九十一件率において〇・四二件を減少してゐる。

(二)離婚 離婚件數は五萬百十九件人口千に對する割合は〇・八三件であつて前年より件數千五

百六十八件率〇・〇四件を減じて居る、また婚姻千に對する離婚の割合は九九・七で前年の九九・一に較べて〇・六の増加である。

(三)出生 總數二百十萬四千四百五人中男百八萬千七百九十三人女百二萬二千六百一十一人男女不詳一人であつて總數において一萬八千三百十四人を増加して居る人口千に對する出生の割合は三四・七七で前年に較べると〇・一五低いまた男女の割合は女一〇〇に付男一〇五・八で前年の一〇三・五から見ると男の割合二・三を増加して居る。

(四)死産 死産の總數は十二萬四千三十八で内男は六萬七千五百六十二女五萬六千三十六男女

不詳三百四十である總數においては前年より三百六十五減少した人口千に對する割合は二・〇五であつて出生及死産即ち分娩總數の五分六厘に當り兩性の割合は女一〇〇に付男一二〇・四に當つてゐる。

(五)死亡 總數百十六萬七百三十四人で内男五十九萬七千二百九十二人女五十六萬三千四百三十五人男女不詳七人であつて總數において前年より四萬九千九百七十二人を減少した、これは既往二十餘年間に未だ曾て見ざる低率である歐米諸國最近の數字に較べるとスペインがわが國よりやゝ高く外は何れもわが國より遙に低い。

自然増加 死亡に對する出生の超過即ち人口自然増加は九十四萬三千六百七十一人であるがこれに大正十五年昭和元年の屈洩れてあつて將來届出らるべき數を從來の數字から推計してその出生超過を見積るときは優に百萬を超えるであらう、そ

して右増加を從來の最高であつた前年の八十七萬五千三百八十五人に較べると尙六萬八千餘多く人口千に對する割合は一五・五九で前年の一四・六五に較べると〇・九四高い、我國人口の自然増加數は今日まで大體に増加の傾向をたどつて來た、歐洲諸國の最近の自然増加率はオランダが人口千に付一四・五で我國の率にやゝ近いが他は何れも遙かにわが國より低い。

今秋上野に開く

兒童生活展覽會

十月九日から三十一日まで

——東京博物館の別館に

惠まれぬ都會の兒童達のためにその日常生活を明るくし保健教育兩方面から兒童の資質向上に努めやうと文部省では來る十月九日から同月三十一

日まで玩具繪本改善研究會と協同し、上野公園東京博物館別館に兒童生活展覽會を開催、乳兒幼兒園兒時代の生活指導に必要な玩具、繪本、標本、模型、兒童製作品等を歴史的に分類陳列し一般父兄及び兒童教育に關係する人々の注意を喚起する事になつた開期中は斯界の權威者によつて講演會を催し、内外兒童及び園兒の製作品陳列館、保育館、健康相談所教育相談所等を設け閉會後は大阪市を初め全國主要都市に開催して廣く兒童生活の改善向上に資する筈である。

お断り

編輯の都合により八月號と九月號とを合せ、本號として編輯いたしました。従つて八月號は特に發刊していません。御承知下さることを希望いたします。

日本幼稚園協會

九月の幼兒生活

五〇

東京府女師附屬幼稚園 卜 部 た み

是は九月の保育日程表でもなく、保育細目でもなく、幼兒がどんな生活をしてきたかといふ記録の一部分で御座います。

此の種の物は、どなたもが持つて居られるもので、個人的のものは特に文字の上だけでは保育實際の眞の情景とか、気分などは現はしにくい事として如何かと存じましたが、何か書いてみよとのお話故是によつて御指導を仰ぐ事に致しました。

幼稚園及小學校低學年の教育は、子供の生活そのものを教育的に指導して行く事が教育の全部であります。小學校低學年に於て、合科教育或は原始的學習又は末分科の教育等がなへられてゐま

すが、幼稚園の教育こそ全くそれであつて、むしろ小學校教育のそれよりも、もつと理想的のものであるべきと存じます。

保育の五項目を分科的に時間的に配當して取扱ふのでなしに、子供とともに遊んでゐる間に、所期の目的につき進めていかねばならないものと思ひます。従つて幼兒の遊び即ち生活そのものが、保育の教材となるのであります。

左に記します表の九月の生活(主要材料)とは、教育的に取扱ふ主な生活事項を凡そ配列して置いて、いはゞ生活暦といふべきもので、大體是により教育を進めていくのであり、その次の表はその内年少組である一の組の生活記録であります。そ

の後に保育日誌から摘記いたします。

かう表はしても是は極く一般的のものでありまして、私共はいつも幼児一人一人を教育してゐるものであります以上、各個人の要求する學習の題材が、時に臨み機に應じて殆ど豫期出來ない様な

ものが出てくるものである事を考へ、それに最も適當の處置方法をとる事が眞の保育即ち教育である事を忘れてはならないと存じます。それらを記録して保育の資料反省材料とする事も亦大切な事と思ひます。

九月の生活(主材料)

<p>幼 一 組</p>	<p>○夏休中のおみやげ展覧會 ○夏休中のお話 ○水遊び、色々な遊び。 ○花壇の手入 ○九月生れ誕生會 ○二十日廿日の事 ○虫干。彼岸。月見。 ○秋について、(衣服、帽子傘、町の變化) ○秋として、其他(秋の田園、秋の日和、秋の草花、虫類渡鳥等)</p> <p style="text-align: center;">幼稚園の生活樂さし</p>
<p>幼 二 組</p>	<p>○同上</p>
<p>尋 常 一 年</p>	<p>○同上 ○なほ此の月の前に休暇中の教育的利用の爲めに與へた指導案様のものについて整理する事。 休中の話會。 休中の採集物、製作品等の展覧會。 日記帳よみ「朗讀會」</p> <p style="text-align: center;">等</p> <p>○又今學期に於ては第一學期に引續いて遊戯化としての取扱濃く表はる</p>

曜 週	第 一	第 二	第 三
1	<p>始業(式) 小學校庭 震後遊戯室に於て休中の状 況を話合ふ。 ピアノをきき又は唱歌遊戯 をして楽しみあふ。</p>	<p>自由遊び(各運動具による、 積木 本よみ 絵 談話等 草取り) (雑草、虫類、蟬、休中に 咲ける花等の觀察) お話(幼稚園が初まる) 幼児の話(休中の話) 蓄音器をきく。</p>	<p>雑草抜き、花園手入れ、夏 休中のおみやげ(繪手技等) を室のまはりにならべしめ る。 幼児のお話(休中のつゞき) 唱歌遊戯復習、</p>
2	<p>自由遊び(昨日の生活發表) (活。繪等による) 園外散步 傳通院銀杏寺附近 (蟬の聲をきき、蝶蜻蛉 を追ふ。)</p>	<p>自由遊び(お月見の仕度に 及ぶ) 二の組を見て粘土に て「イモ、ナス、瓜果等」を 作る。 展覽會(於小學校)をみにい く。 (唱歌遊戯(復習)月夜の兎) 一段新授</p>	<p>自由遊び(お月見のかざり) (實物の果物、野菜を膳にそ なへ薄、秋草をかざる それらの觀察 繪をかかくもの 自分の粘土をならべる お話「お月見の話」 唱、遊同前</p>
3	<p>自由遊び (砂場掃除、砂ならし、 水遊び、笹舟作り) 談話(日曜の話) ボールさがし(楽曲により) 唱、遊同前</p>	<p>自由遊び 九月生れ誕生會の仕度のた め繪、手工をせる二の組を 見る。 粘土製作(自由) ボール投げ 唱、遊同前</p>	<p>二の組の手技をみて「家作 り」に入る。切抜いて立てる 繪「なかない鈴虫」 なく鈴虫のうたをきかしむ 唱、遊同前 自由遊び 砂場、蟻の幼虫の觀察、</p>
4	<p>自由遊び 折紙、切紙、積木 日曜の話 お彼岸の話、(繪 と談話) お辨當の楽しみ、 籠まり、ボールさがし、 ジャンケン遊び等、 唱、遊、同前、</p>	<p>園外保育 大塚東京高師校庭小石川窪 町小學校へ 山、池、樹木、花園、運 動場、兒童生徒の運動、 建物、設備、家畜鳥類、 其他の觀察、家畜鳥類、 (明日は秋季皇靈祭の事)</p>	<p>自由遊び 校内散步(觀察) リレー 走幅とびのまね マラソン、バスケット お話「黒のお参様」 繪「お話の中の好きな動 物」 唱、遊同前、他の練習、</p>

曜 週	第 四	第 五	第 六
1	<p>自由遊び (雨曇、雨上り、日向葵、梨、桃、いちぢく等の貨の観祭) 談話(人形の旅行) 續いて繪に入る。 各兒の話(ついで)</p>	<p>自由遊び 水遊び、積木、手工、繪、まゝ事 校内散歩 (とんぼ、蟻其他の虫類、電線工事、板塀校舍等の修理)の観祭 スキップ練習、唱歌、遊戯</p>	<p>自由あそび 汽車ごっこ。 ボール遊び。 繪、(休中の事に關するもの)。 室にかざりし鑑賞。 唱歌遊戯の復習。</p>
2	<p>自由遊び、(砂場、まゝ事等) お話(月の井戸) ゆふべのお月様の話保母幼児語りあふ、繪にかくもあ り、紙にするあり、手技に 入る。凡ておみやげとす 久堅町通り祭禮の町観祭 (十月十一日) 祭禮氏神様の話 月夜の兔一段練習</p>	<p>箕川神社参拜(祭禮の後の日) 近くのS家の庭園に遊ぶ、 虫類の其他の観祭 運動具類の使用 遊戯</p>	<p>自由遊び 展覽會を見にい 歸りに繪にかく (人使畫汽車多し) 唱歌(月夜の兔二段) 遊戯(同上一段) 其の他の復習</p>
3	<p>自由遊びよりついで昨日のついで「家作り」をなす。 繪、切紙、キビガラ等 (二の組の製作をみる) 唱歌、 鈴なし鈴虫新授 其他同前</p>	<p>自由遊び (手技、小積木、誕生會開會) 挨拶、答禮、贈物(手技) 唱歌、談話、本讀み、遊戯等 自由遊び</p>	<p>自由遊び 水たまり、赤蜻蛉追ひ、赤とんぼ観祭(自然科の話)とんぼ作り(キビガラ細工) 唱歌、鈴なし鈴虫、二の組の家かざりをみる お彼岸の話</p>
4	<p>散歩、 雨上り、曇、水たまり、日、雲、空等観祭 自由遊び 積木、電車遊び 汽車あそび切符作り、カバン作り 九月分身體検査</p>	<p>自由遊び 雨中の往來観祭 雨の日の通園について談話、 雨具雨衣着替競争、おくり迎(ごっこ)、 お話(雷様の大鼓) あらし、夕立の話 唱、遊、同前 (休中の思出はなし)</p>	<p>唱歌、遊戯、既習のもの練習、スキップ、 談話 秋の話、夏と秋、春と秋、 九月終りの話、 自由遊び (同前)</p>

右の表の上第一第二は曜日を表はし、右は1週2週を表はしてゐます。實際は五週目の二日程が、餘りませんが紙面の都合上四週の中に書き込んでしまひました。

× × ×

○日。午前八時の始業式に先だつて眞黒に日焼した元氣よい幼兒達の顔久し振の「お早う。」「お早うございます。」の聲に接した嬉しさ。二の組に比べて一般に一の組は稍々氣後れのした恥しさうな様子も見えたが、間もなく元氣も出て、遊戯室、遊び道具砂場ブランコ等なつかしいものゝ邊りは早速の大賑はひ。楽しいのんびりした比較的より自由な家庭生活の四十日を経て來た子達は、誰もく幼稚園のち友達との生活(相互生活)には不足を感じてゐたらしい。それが又當然であり幼稚園生活としての生命のある處を物語るものである。

主事の第二學期に對するお話は、幼兒ながらも

よく解つたらしい。

愈々第二學期は來た。輝かしい子供達の活動を見るにつけ、生氣ある新學期を迎へた愉快に胸もあどる。

○日。朝から蟬の聲が盛んに聞える。靴を穿きかへると早速思ひ々の活動が初まり、自らそこに興味分團が出来る。花壇或は庭に出て雜草をつむもの室内で小さい積木の汽車其他に餘念ないもの、クレオンを出して休中にみた景色をかくもの、大い積木を遊戯室にかつぎまはるもの砂場に山やトンネルを作る者等様々である。

暫くの後自然に外に集つて大部分は雜草拔に加はる。一組M子T子の手つきの上手な事。雜草の間から跳ね出すバツタ、根切虫、大きないも虫を引いていく大勢の蟻等が又一段と觀察の興をそそる。この組の元氣者のKさんは「僕にも見せて」いふより先きに、蟬の抜け空も、てんとう虫もつ

かみつぶす。地虫に観入るUさんの態度の眞剣な事。砂場に出た豆の芽生えを小さい鉢に寫し植ゑるS子さんの心づかひよ。

觀察は觀察のために觀察といふ方式を作るのではなく、凡て遊びの間にあらゆる機會に自然に有力に行はるべきものと思ふ。そして事物に對する心の眼を見開らかせる事が第一である。正確な經驗を與へたい。兎角物を見せるとしても、只漠然と意義なしに終るか、又は形式一扁に皮想的に、或は所謂理科教授式になり易い。子供個人々々の心の自由な伸び方を助長させ、正しい陶冶をするといふも、第一に指導者該人にある事を熟々感じ反省するのである。

○日。林中のお話會は今日も引續き遊戲室にひらく。交る／＼出て話す。或はその場で立つて笑ひ乍ら語る。小さい拍手がなる。概して一組の斷片的な短い話に對して二組の比較的まともあるのに、

兩組の發達程度の現はれを知つて面白い。

○日。二の組は誕生會の仕度及び贈物作りで切紙折紙はり繪其他の仕事に餘念ない。それを見て一組も粘土で好きなものを作り出した。凡ての仕事が命ぜられた爲めてなしに、お月見の仕度或は誕生會等幼児の生活のプランをたてその必要から生み出され、そこに動きが起る。幼い一の組も大きい組に交つて知らず／＼その態度に染つていくのがたのもしい。

○日。二組のは數日前から各兒思ひ／＼の家作りをしてゐたが、一組の平面的なのに對して立體的なのが一層進んでみえる。今日は殆ど色々の彩色した様々の形の家が出来上つた。大ていは家としての一つの製作が終れば是て仕事の完成としてお土産に持ちかへらせたものであつた。一寸與へた保姆の暗示は忽ち「家作り」から發展して「町作り」「都會作り」になつた。一同室の眞中に机を集め、

廣い地面を想定したらしい。道をかく。茶色にぬる。そこへめい／＼が家をならべる／＼。軒並をそろへた西洋館。こゝは露路。こゝは大通り。「やあ電車を作らう。「僕は自動車。「僕電車センロ。「あたしは人。「こんどは木がほしいてせう」「え、先生どうやつて作るの?」かくて又次々の仕事は生活活動はつきない。一同手をあいた時にこゝと周りに集つる。Kちやん曰く。「やあ随分世の中が發達したもんだなあ。「保姆も此の言葉に思はずびつくりさせられた。おそらく眞の悦びの聲であつたらう。「是は畫用紙ですが、こんどする時は茶ボールでしてみませう。「ええ／＼。」と一同大喜びやがてめい／＼の組へ迎ひにいつて發達した世の中の紹介に及ぶ。

○日 お辨當のたのしさ待ち遠しさは、いつの子供もかはりはない。思ひ出す度に催促するやらバスケットを持ちあるく。午後汽車ごつこ電車ごつ

こに販ふ。一組の三四人以外はお客様専門なのに對し二組の遊び方の組織だつてきたのに氣附く。切符賣、停車場作りの間に出てくる文字、數字、數觀念の扱ひも意をもちひ、あやまらざる指導方法をとるべき大切の事である。
(後略)

告 廣

定 規 文 注

一、幼稚園及び小學校、家庭、育児、看護等に關する論說調査研究等の寄稿を歓迎いたします。

一、寄稿は一行二十六字詰に記して下さい。但改行は一字下げること。また句讀點は一字あけること。

一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新刊書、交換雜誌、入會手續、更に

本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切左記編輯兼發行所宛に願ひます。

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内 日本幼稚園協會

一、本誌購讀御希望の方は日本幼稚園協會に御加入下さい居所、氏名を明記し會費前金にて東京女子高等師範學校附屬幼稚園内日本幼稚園協會に御申込下さい。

一、日本幼稚園協會會員外にて本誌御注文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます。(郵券代用の場合には總て一割増)

一、御送金の場合にはなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。

一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。

一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帯封に『前金切』の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。

一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

價 定

一ヶ月分一册	金參拾五錢	送料貳錢
半ヶ年分六册	金貳圓拾錢	送料共
一ヶ年分貳册	金四圓貳拾錢	送料共

(外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)

昭和二年九月十日印刷
昭和二年九月十五日發行
幼兒の教育 第二十七卷第八號

不 許 複 製
禁 轉 載

編輯兼 發行者 堀 七 藏
東京府豊多摩郡戸塚町大字戸塚五七五

印刷者 小長谷 勝之助
東京市牛込區西五軒町五二番地
印刷所 行政學會印刷所

發 行 所 日 本 幼 稚 園 協 會

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
振替口座東京一七二六六番

告 廣

特等面一頁 金參拾圓	二等面一頁 金貳拾圓
一等面一頁 金貳拾五圓	一頁以下御斷

神田區南中賀町八品田奥松に御申込下さい

濱田廣介先生著 初山滋先生畫

菊判 各定價壹圓八十錢
美裝 送料十錢

◀ 評 好 大 ▶

ひろすけ 童話讀本

第三集發賣忽ち五版

第一集 第二集 八版

島崎藤村先生曰く——(前略)どんな好いお話がこの本の中から出てくるでせう。眺めても眺めても飽きない青い蟬のやうな子供の世界のことが、もつとお知りになりたくば、濱田小父さんのお話へお出てください。

中村星湖先生曰く——今の童話作家のうちで、誰のが一番すぐれてゐるかと問はれたなら、躊躇なく答へる、それは濱田廣介君の童話だと。彼の童話を讀めば解る。(中略)あの寫實的で同時に象徴的な廣介童話のうまさと美しさ、廣介君の童話のやうなのは、普通の小説なみに、といふよりは、普通の小説以上に、世間が取扱ふことを希望する。

東京東座口替振
番三五五四
院書教文 株式 込牛京東
社會 町元城赤

少年常識叢書

東京高等師範學校 府立師範學校 各中學校 女學校 學務院 教官分擔責任執筆

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
東京小松崎三枝著	東京小松崎三枝著	元早井大助著	東京佐藤保太郎著	東京岡崎常太郎著	東京大瀧正實著	元早井大助著	東京早大助著	東京澤田勝三著	東京白井勝三著	東京白井勝三著	東京川崎喜一著	元早井大助著	東京小松崎三枝著	東京古川龍城著
海	空	無線電信、無線電話	南	昆	人	瓦	發	興	星	動	火	蒸	植	地
中	中	球	半	虫	の	斯	明	味	の	物	と	汽	物	震
旅	動	巡	球	の	行	の	家	の	世	の	空	の	の	の
行	物	り	界	道	力	家	術	界	活	氣	力	界	識	

30	29	28	27	23	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16
東京田邊晉八著	東京坂口龍太郎著	東京岡崎常太郎著	東京金子彦二著	東京白井勝三著	東京中井俊三著	東京橋本七次著	東京高橋七次著	東京山本幸雄著	東京水谷英夫著	東京齊藤英夫著	東京川崎喜一著	東京鈴木鶴吉著	東京金子彦二著	東京肥後盛徳著
心	鎌	我	現	地	寫	理	飛	北	偉	世	鐵	國	格	算
の	倉	等	代	下	生	化	行	半	人	界	の	の	語	術
算	物	身	識	辭	々	樂	實	巡	生	氣	石	知	の	の
術	語	體	典	り	み	驗	話	涯	候	油	識	識	の	の

文部省 認定

東京高師茗溪會推獎 各都市教育會賞讚

東京市牛込區西五軒町四十一番地 發行所 文洋社

電話東京一五〇九四番

後前頁十八百十數畫插裝美判六四 卷十三全 錢六料送 圓壹金各價定 ◆呈送本見客內◆

観察繪本キンダーブック

第一卷
お米の巻

御 贊 助

(順ハロイ)

掘及河土倉藤淺岸森
川野川橋五尾邊川
七 ぶ 清 惣 代 清 福 正
藏 實 九 郎 三 策 記 雄 雄
先 先 先 先 先 先 先 先
生 生 生 生 生 生 生 生

第一卷の目次の内容
1、稲の標本
2、米食人種と動物
3、稲
4、田植
5、除草と灌漑
6、害蟲驅除(蟲合戦)
7、豊稷
8、收穫
9、摺摺

10、豊年祭
11、米の移出
12、精白
13、七五三の祝
14、野營の炊爨
15、米の製品
16、1. 兎の餅搗(キリヌキ)
2. 米搗(キリヌキ)

以下

乗物の巻、水の巻、お行儀の巻、牛馬の巻、電氣の巻、遊戲の巻、
花の巻、お伽の巻、羊の巻、鳥の巻、お蠶の巻、等々。を續刊の豫定

△繪で編んだ主義一貫せる幼兒讀本

△文字の讀めない幼兒に取つて心の糧

△理智と藝術の交響樂

愈々九月末出來

至急御申し込み下さい。
お子様方にも御勧め下さい。

東京市小石川區指ヶ谷町

發行所

フレールベル館

電話小石川六三〇一番
振替東京一九六四番